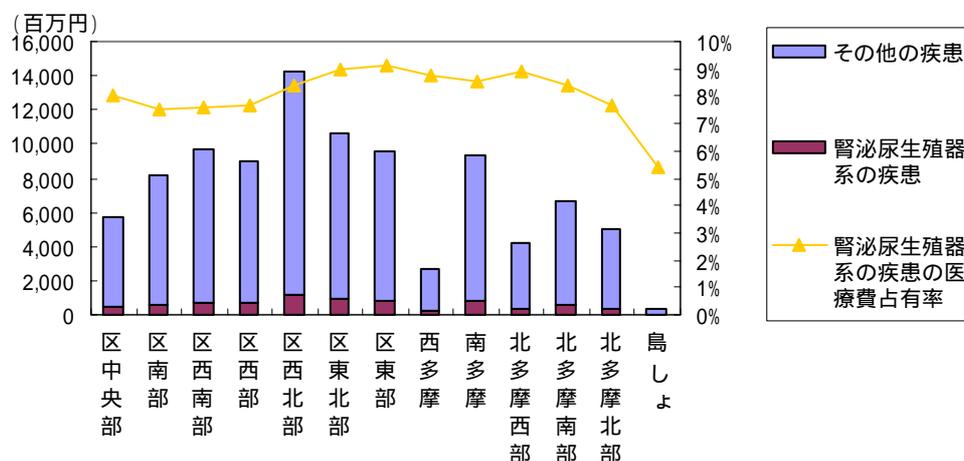


### 腎泌尿生殖器の疾患

腎泌尿生殖器の疾患構造を、二次保健医療圏・区市町村別及び年齢階層別に把握する。

- 40 歳以上の医療費における「腎泌尿生殖器の疾患」の占める割合は、各二次保健医療圏は 7～8%台に分布しており、島しょのみ 5%と顕著に低い。
- 中分類では「腎不全」が 77%と大半を占めている。
- 「腎不全」は 50～59 歳の年齢層では 86%を占めているが、74 歳以上の層では 76%となっており、年齢層が上がるに連れて占有率が下がっている。

図表 4-4-102 二次保健医療圏別 40 歳以上における腎泌尿生殖器の疾患の医療費占有率  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-103 40 歳以上における腎泌尿生殖器の疾患の疾病中分類  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

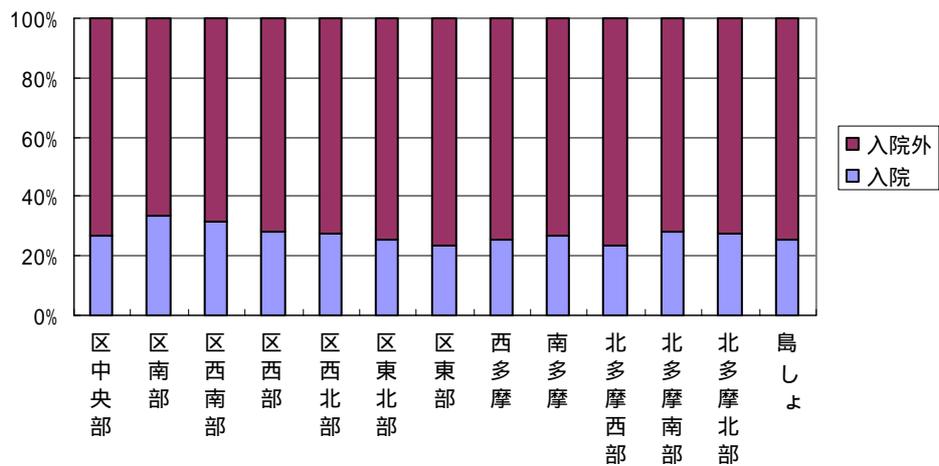
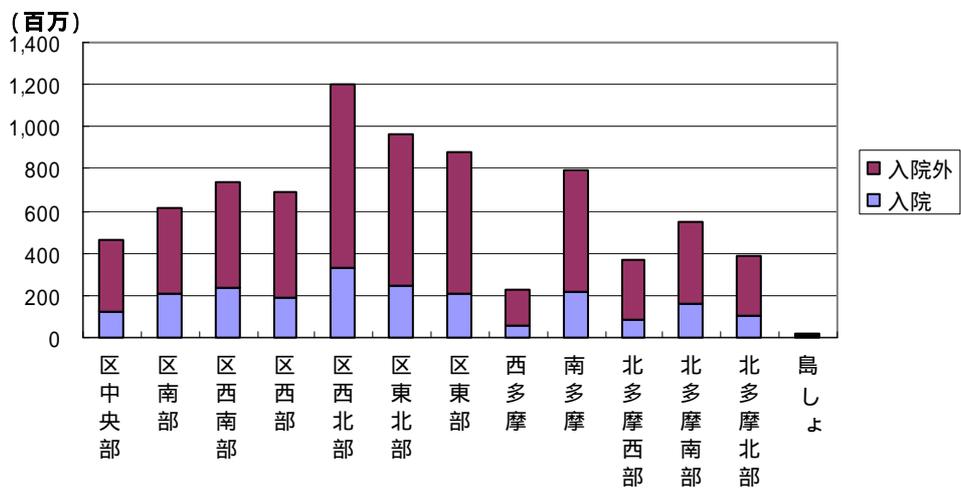
中分類	医療費 (円)	占有率
1402 腎不全	6,074,633,730	76.9%
1405 前立腺肥大(症)	646,839,210	8.2%
1404 その他の尿路系の疾患	444,006,190	5.6%
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	264,145,840	3.3%
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	213,431,360	2.7%
1403 尿路結石症	140,243,530	1.8%
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	74,195,910	0.9%
1406 その他の男性生殖器の疾患	45,270,590	0.6%
計	7,902,766,360	100.0%

図表 4-4-104 区市町村別 40 歳以上における腎泌尿生殖器系の疾患の医療費と占有率

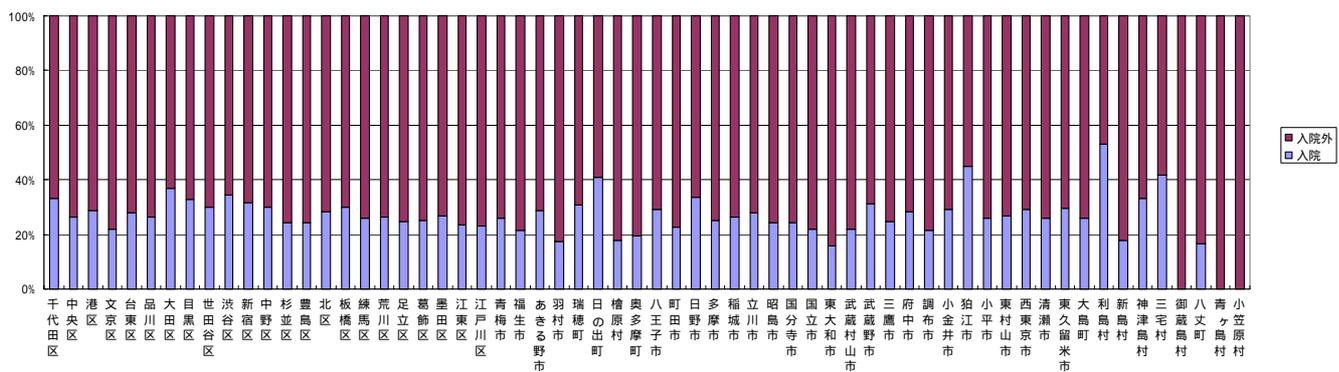
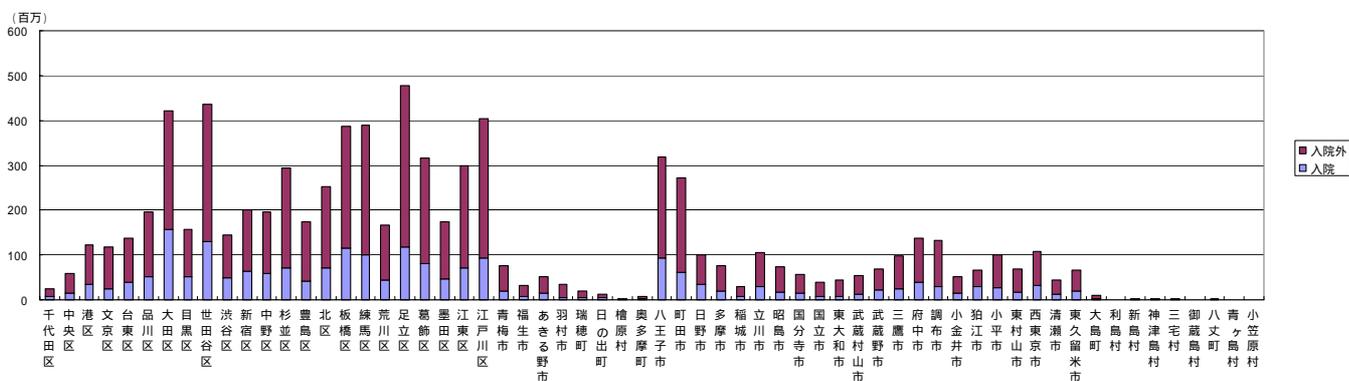
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

No.	区市町村	二次保健医療圏	医療費(円)	医療費占有率
1	千代田区	区中央部	23,552,790	6.8%
2	中央区	区中央部	59,183,220	8.4%
3	港区	区中央部	122,288,380	7.9%
5	文京区	区中央部	117,562,840	7.7%
6	台東区	区中央部	137,268,720	8.6%
9	品川区	区南部	194,826,900	7.1%
11	大田区	区南部	421,906,170	7.7%
10	目黒区	区西南部	157,572,980	8.2%
12	世田谷区	区西南部	435,607,230	7.1%
13	渋谷区	区西南部	144,097,670	8.8%
4	新宿区	区西部	200,839,610	8.1%
14	中野区	区西部	196,395,230	7.9%
15	杉並区	区西部	293,209,370	7.2%
16	豊島区	区西北部	174,288,460	8.2%
17	北区	区西北部	252,908,560	7.9%
19	板橋区	区西北部	386,424,230	9.5%
20	練馬区	区西北部	388,403,040	7.9%
18	荒川区	区東北部	166,343,780	9.6%
21	足立区	区東北部	477,114,720	8.8%
22	葛飾区	区東北部	316,771,980	9.0%
7	墨田区	区東部	173,441,870	8.7%
8	江東区	区東部	298,010,120	9.5%
23	江戸川区	区東部	404,213,360	9.1%
28	青梅市	西多摩	76,351,560	8.6%
40	福生市	西多摩	32,244,300	7.9%
48	あきる野市	西多摩	50,632,440	8.9%
49	羽村市	西多摩	34,058,910	10.1%
50	瑞穂町	西多摩	18,535,830	8.2%
51	日の出町	西多摩	11,252,790	10.2%
52	檜原村	西多摩	1,903,030	5.7%
53	奥多摩町	西多摩	6,733,490	9.4%
24	八王子市	南多摩	318,933,280	8.6%
32	町田市	南多摩	271,543,910	9.1%
35	日野市	南多摩	100,192,770	8.3%
46	多摩市	南多摩	75,177,590	7.6%
47	稲城市	南多摩	30,488,210	7.1%
25	立川市	北多摩西部	106,405,400	9.0%
30	昭島市	北多摩西部	72,251,350	9.2%
37	国分寺市	北多摩西部	57,238,640	7.8%
38	国立市	北多摩西部	39,169,060	8.3%
42	東大和市	北多摩西部	43,283,170	8.0%
45	武蔵村山市	北多摩西部	54,438,770	11.8%
26	武蔵野市	北多摩南部	67,550,360	7.0%
27	三鷹市	北多摩南部	98,334,080	7.7%
29	府中市	北多摩南部	136,349,940	8.9%
31	調布市	北多摩南部	132,689,660	9.2%
33	小金井市	北多摩南部	51,321,810	6.8%
41	狛江市	北多摩南部	66,999,570	10.7%
34	小平市	北多摩北部	100,275,430	8.3%
36	東村山市	北多摩北部	68,427,790	6.3%
39	西東京市	北多摩北部	108,366,430	7.8%
43	清瀬市	北多摩北部	43,876,450	7.5%
44	東久留米市	北多摩北部	66,830,030	8.2%
54	大島町	島しょ	8,797,110	7.9%
55	利島村	島しょ	47,920	1.2%
56	新島村	島しょ	1,406,080	3.3%
57	神津島村	島しょ	2,581,320	10.4%
58	三宅村	島しょ	1,912,940	4.7%
59	御蔵島村	島しょ	8,660	0.5%
60	八丈町	島しょ	3,416,370	3.2%
61	青ヶ島村	島しょ	384,450	46.4%
62	小笠原村	島しょ	124,230	0.9%

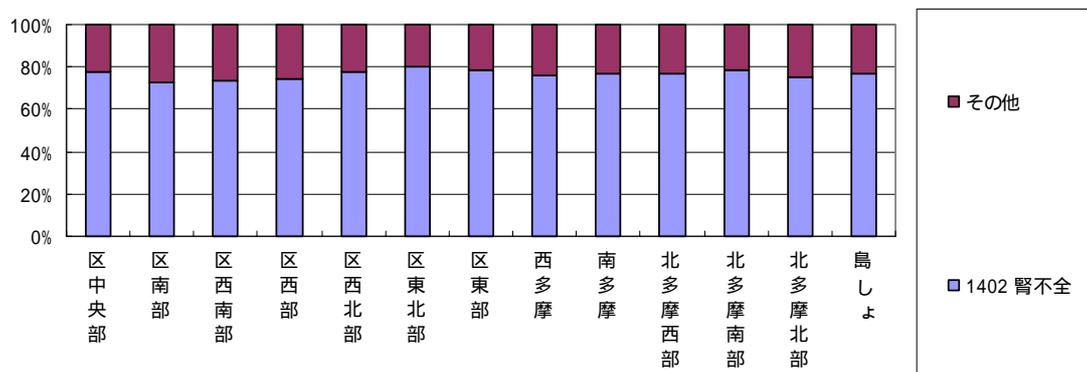
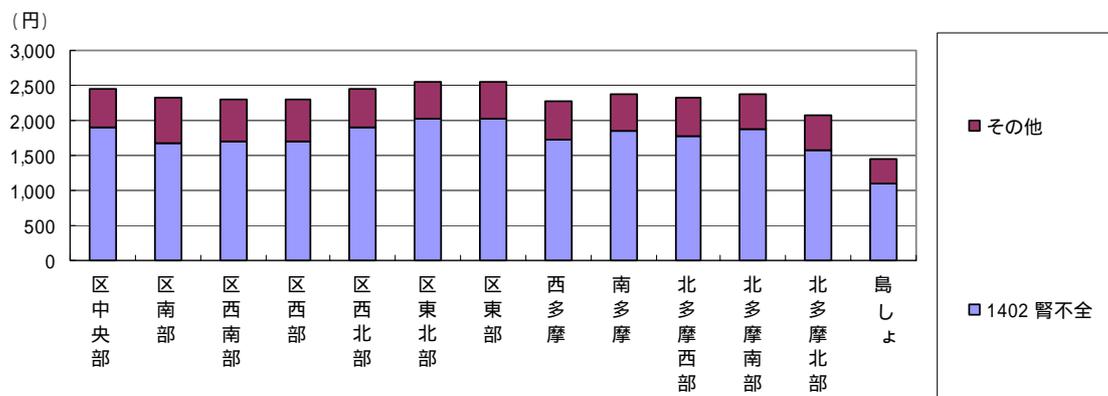
図表 4-4-105 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 療養区分別医療費（40歳以上）  
 （平成18年11月診療分 医科計）



図表 4-4-106 区市町村別 腎泌尿生殖器の疾患 療養区分別医療費（40歳以上）  
（平成18年11月診療分 医科計）

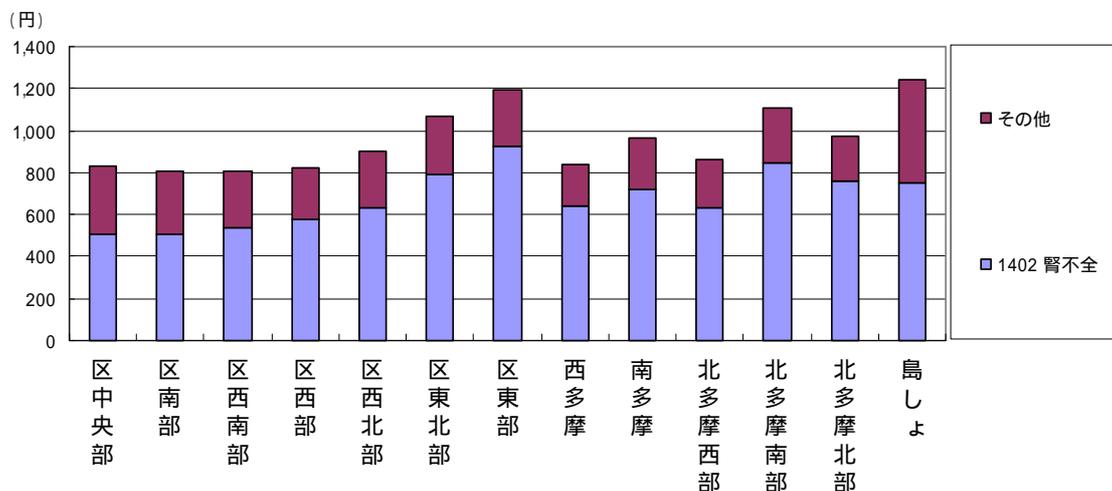


図表 4-4-107 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別 1人当たり医療費  
 (40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)

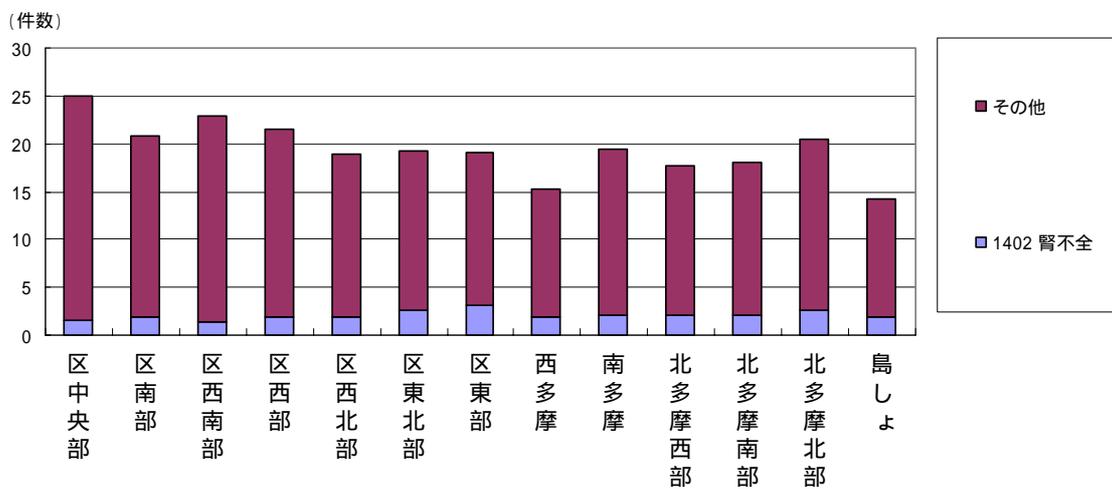




図表 4-4-109 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)



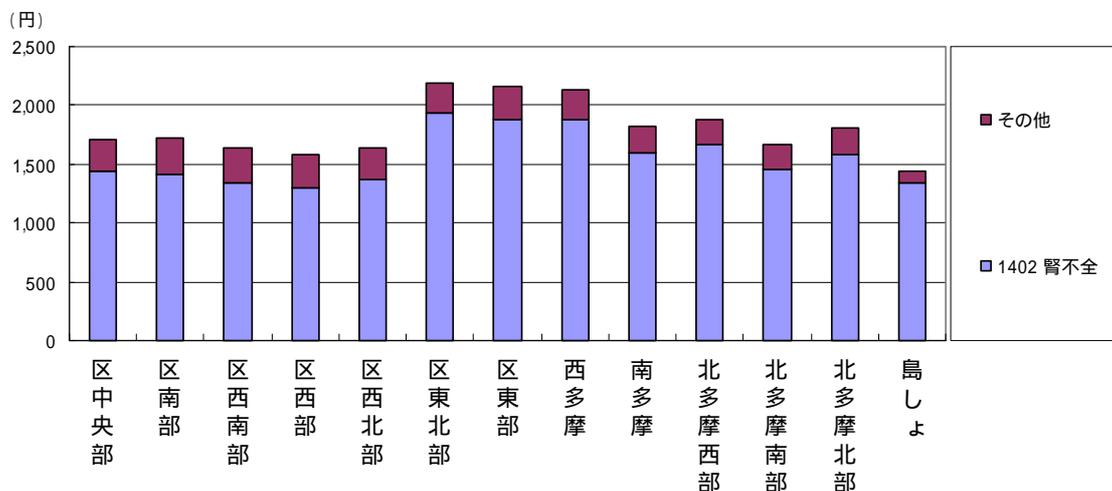
図表 4-4-110 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (40歳～49歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)



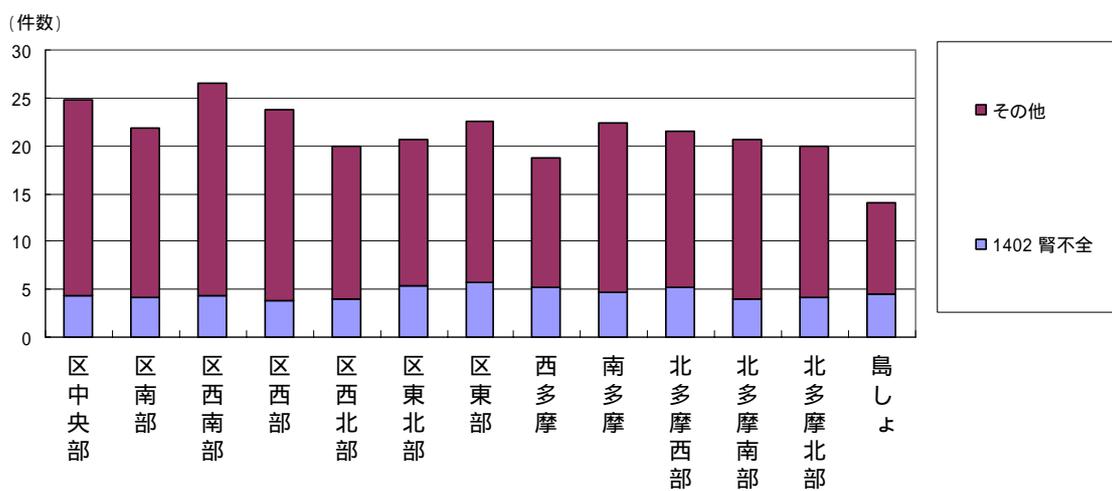
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、費用額が最も低い区中央部で 504 円、費用額が最も高い区東部で 929 円となっている。



図表 4-4-113 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)

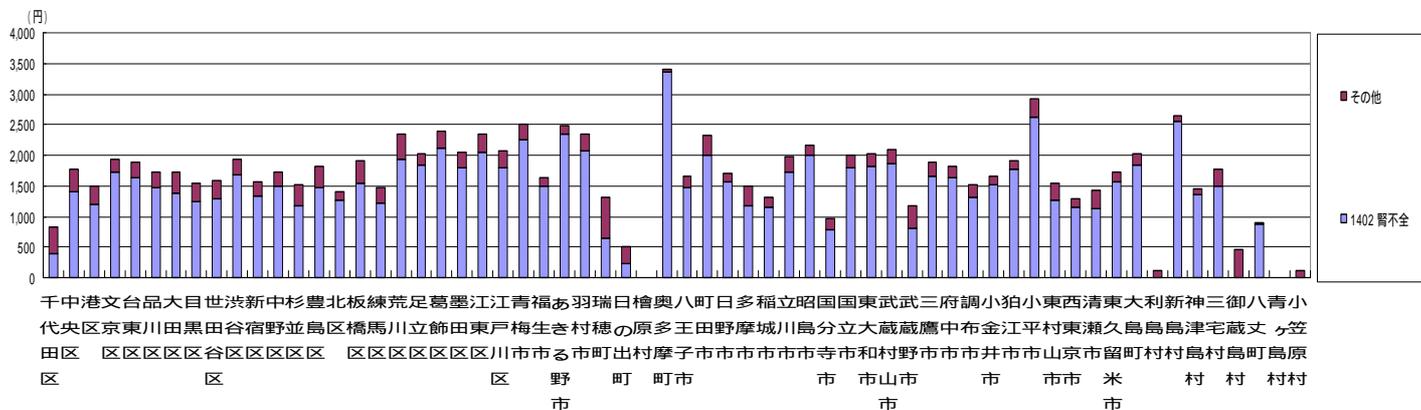


図表 4-4-114 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率  
(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)

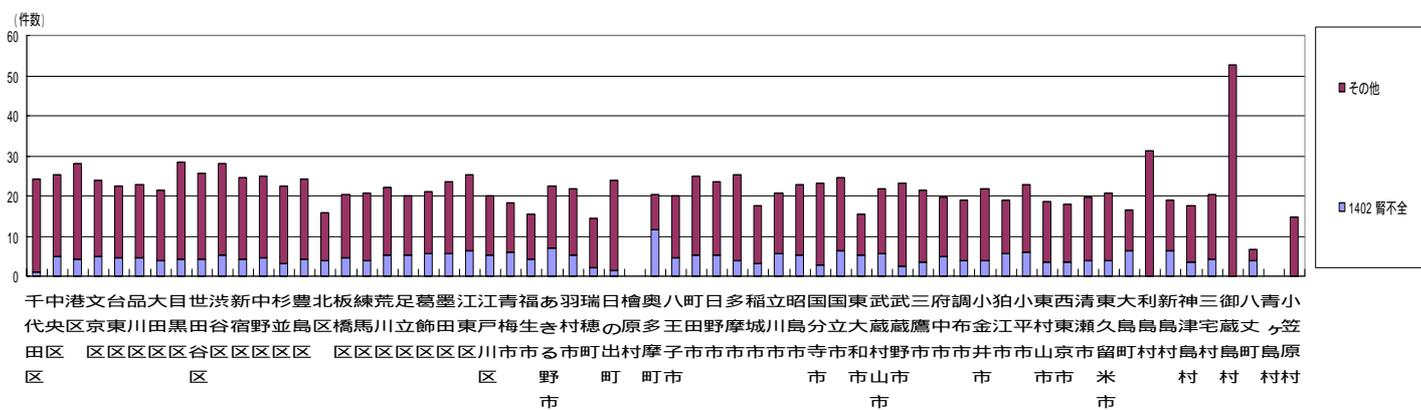


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、費用額が最も低い区西部で 1,301 円、費用額が最も高い区東北部で 1,941 円となっている。

図表 4-4-115 区市町村別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)

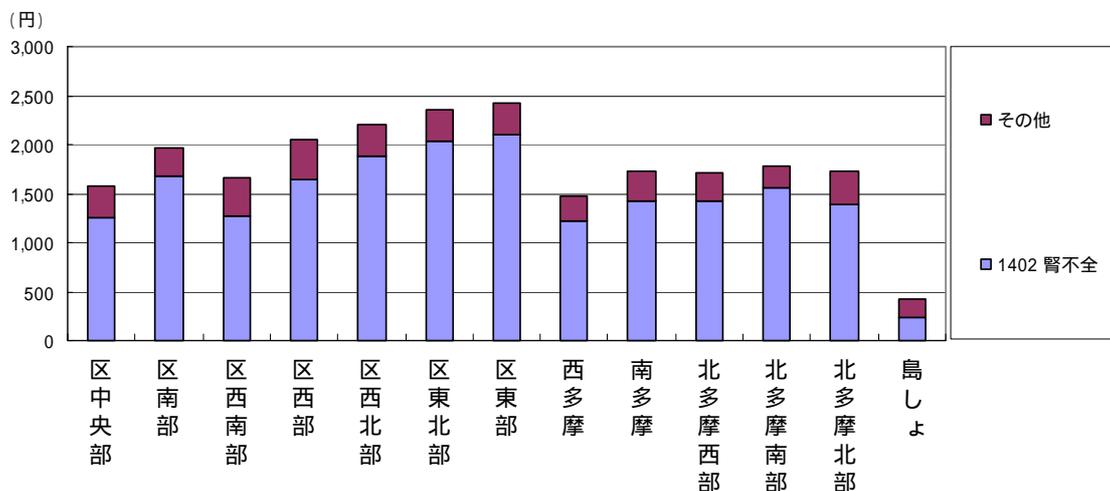


図表 4-4-116 区市町村別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (50歳～59歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)

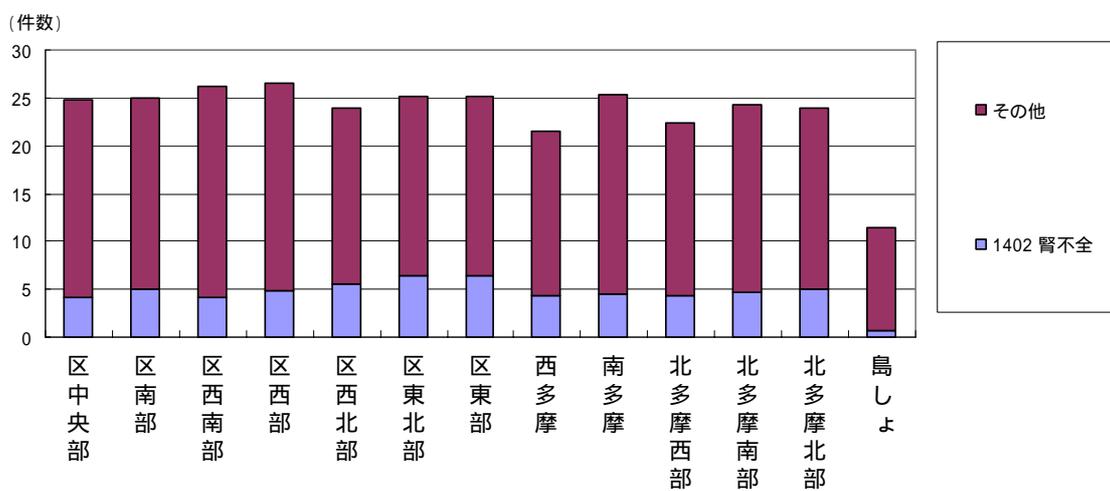


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの区市町村においても「腎不全」の占める割合が高く、費用額が最も高い奥多摩町で3,356円となっている。

図表 4-4-117 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類一人当たり別医療費  
(60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)



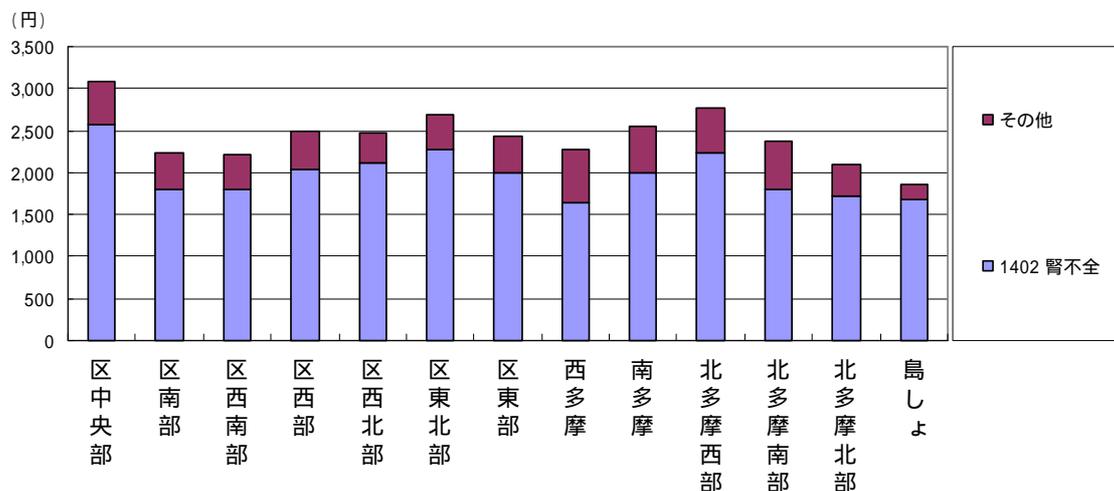
図表 4-4-118 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (60歳～64歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)



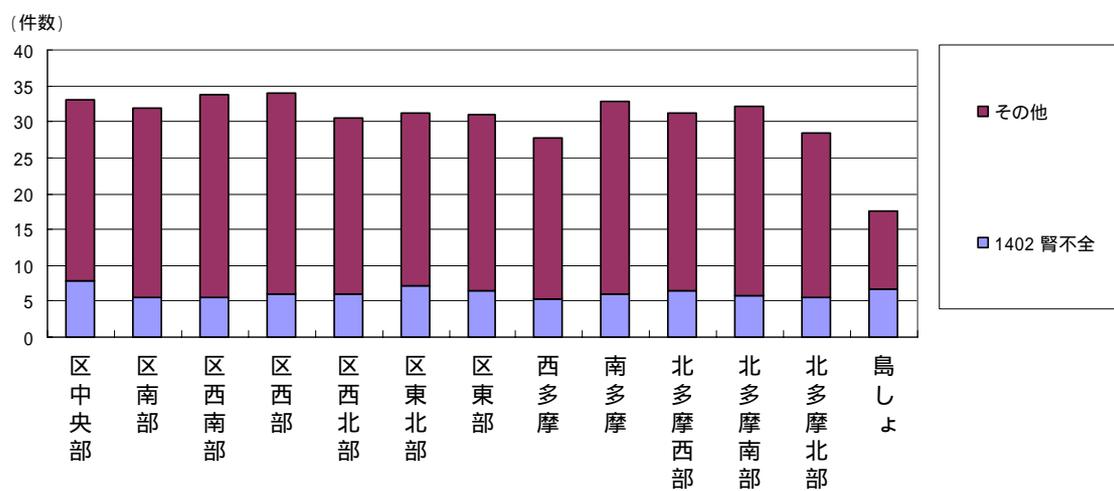
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 1,226 円、費用額が最も高い区東部で 2,100 円となっている。



図表 4-4-121 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)



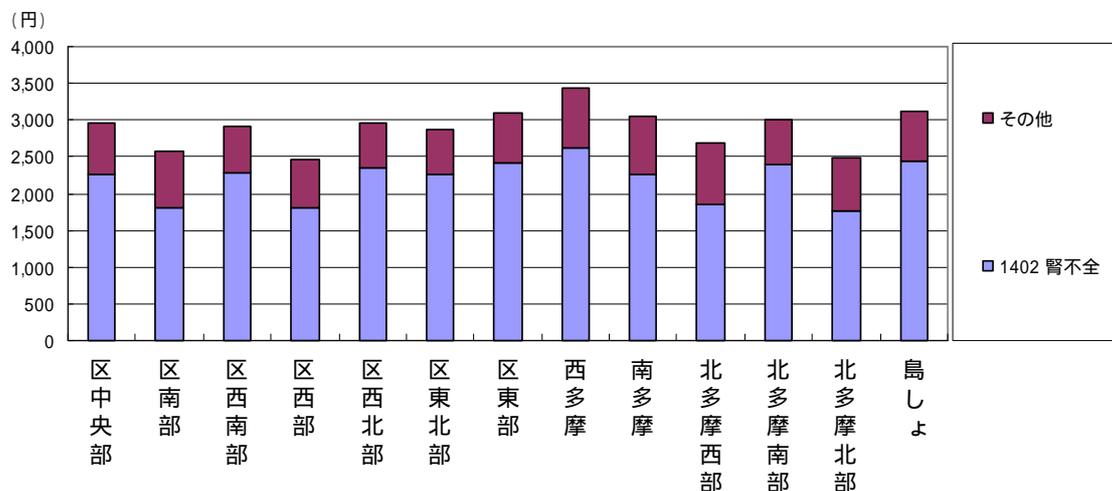
図表 4-4-122 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (65歳～69歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)



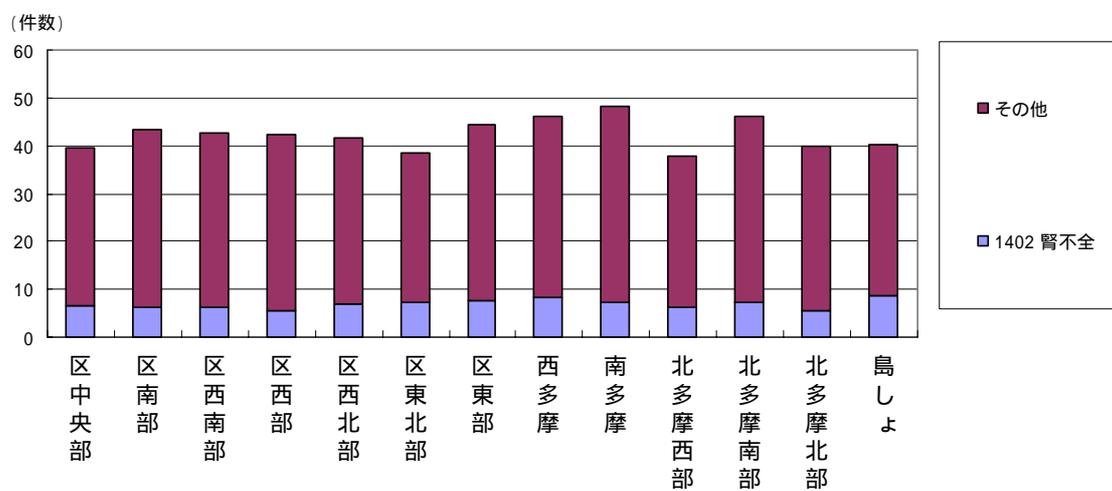
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、費用額が最も低い西多摩で 1,639 円、費用額が最も高い区中央部で 2,566 円となっている。



図表 4-4-125 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(70歳～74歳)(平成18年11月診療分 医科計)

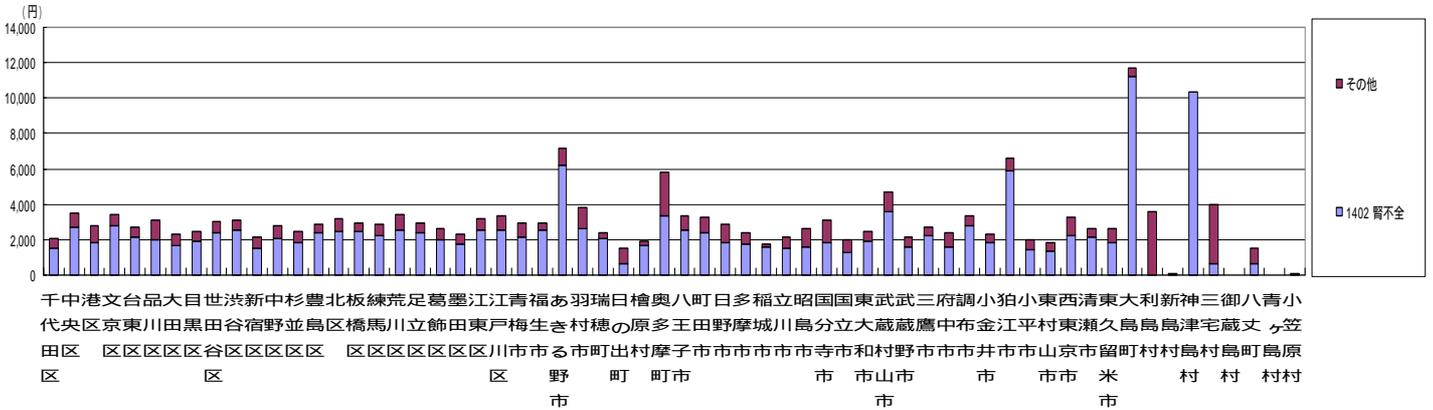


図表 4-4-126 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (70歳～74歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)

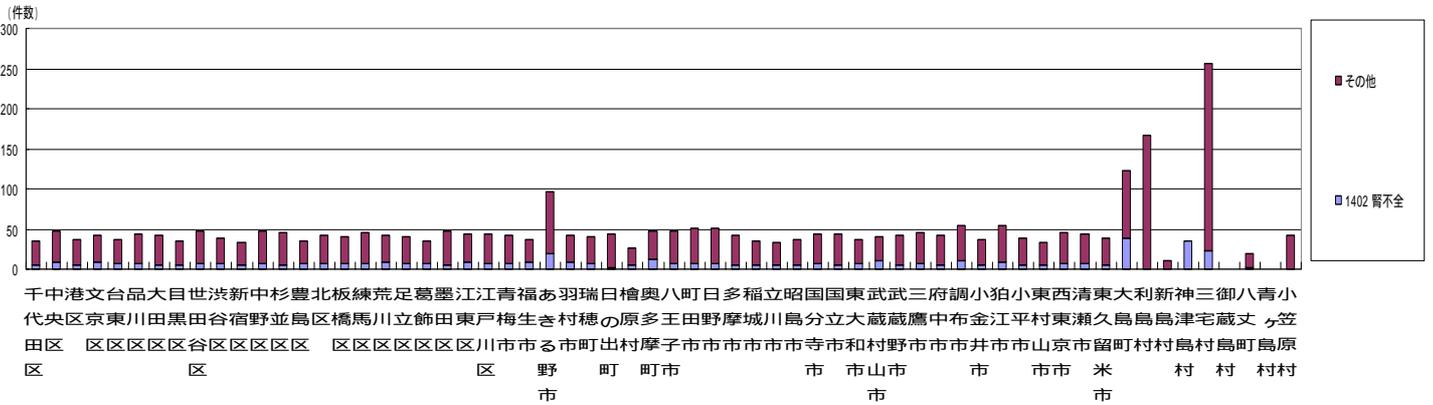


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、費用額が最も低い北多摩北部で 1,759 円、費用額が最も高い西多摩で 2,626 円となっている。

図表 4-4-127 区市町村別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(70歳～74歳)(平成18年11月診療分 医科計)

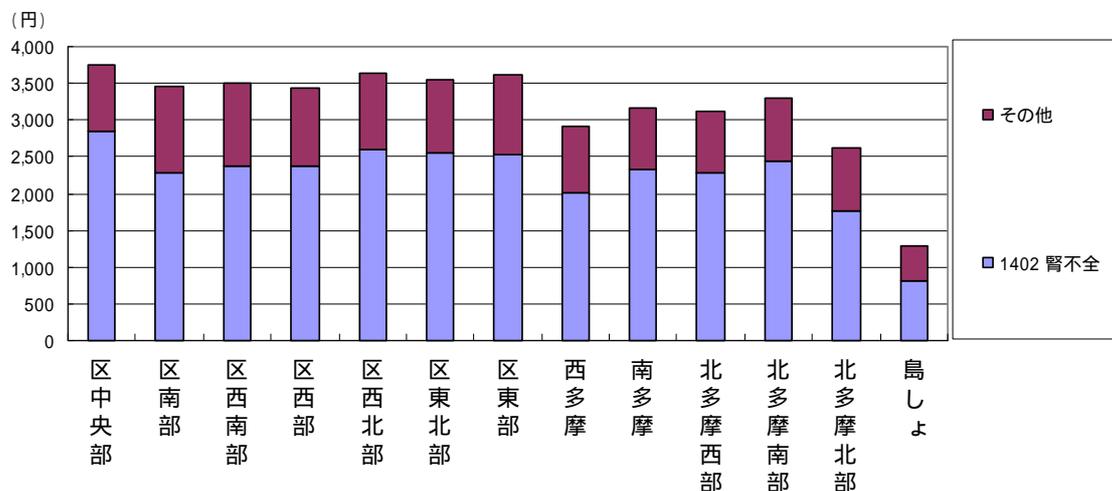


図表 4-4-128 区市町村別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (70歳～74歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)

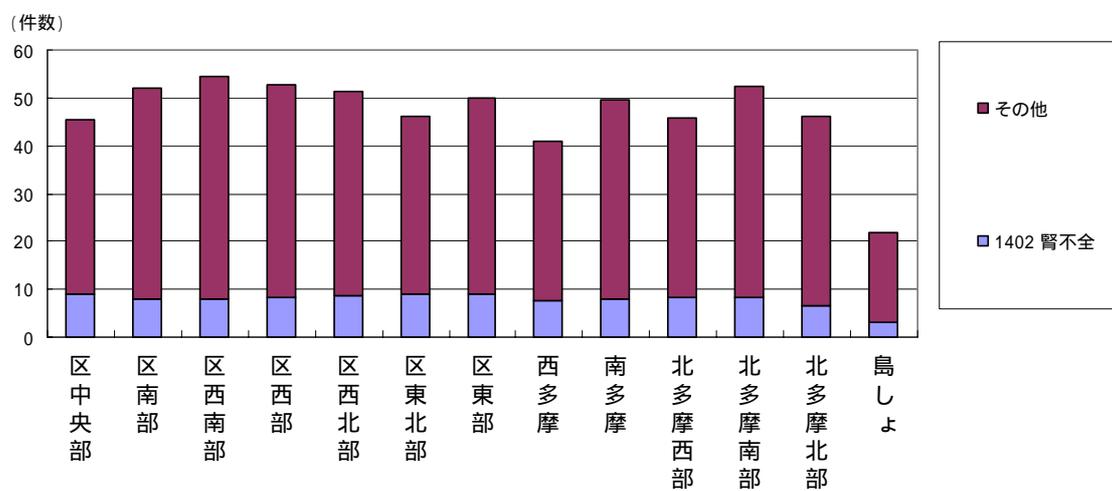


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの区市町村においても「腎不全」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い日の出町で608円、費用額が最も高いあきる野市で6,220円となっている。

図表 4-4-129 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(75歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-130 二次保健医療圏別 腎泌尿生殖器の疾患 中分類別受診率 (75歳以上)  
(平成18年11月診療分 医科計)

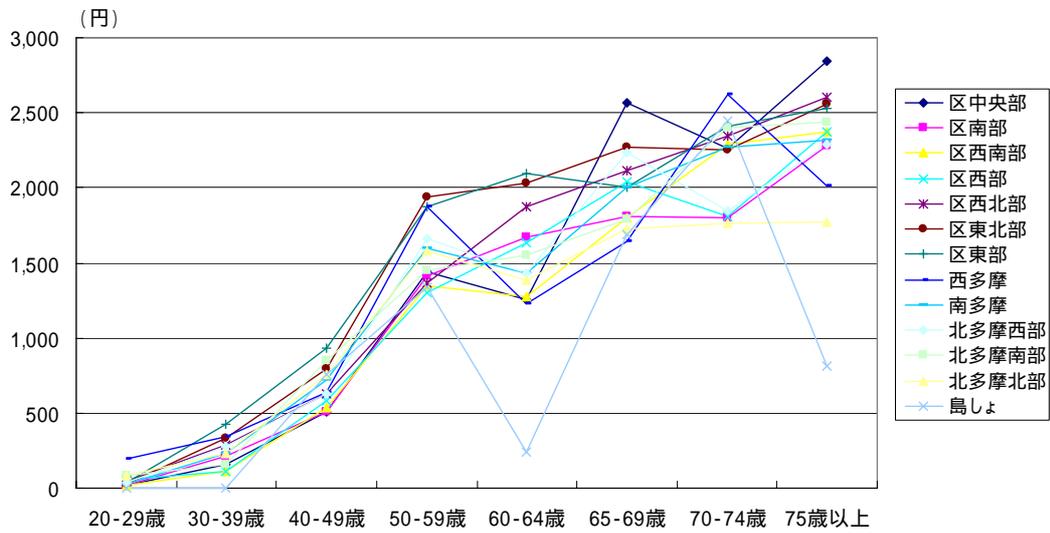


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「腎不全」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩北部で 1,771 円、費用額が最も高い区中央部で 2,843 円となっている。

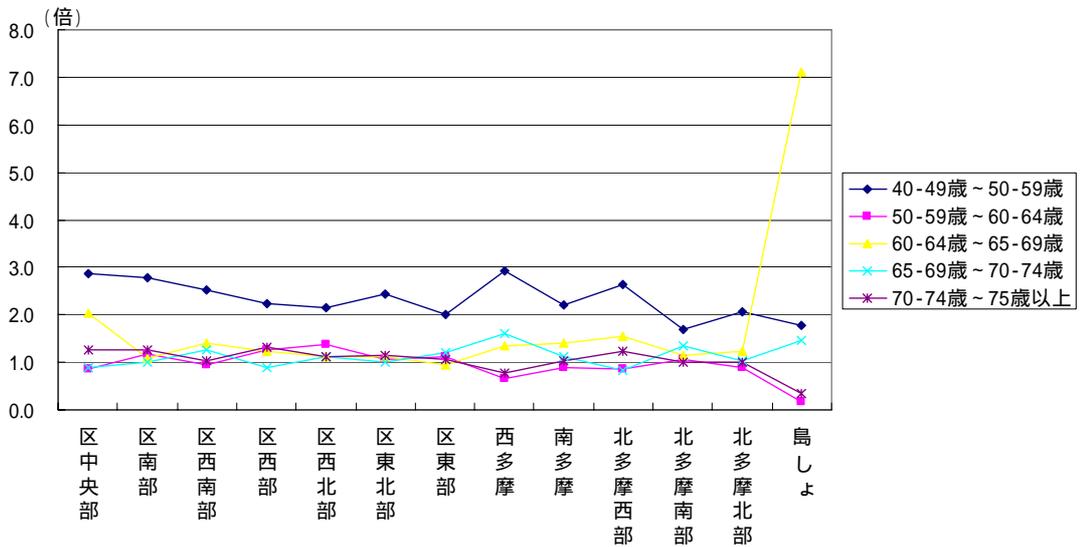


(参考)

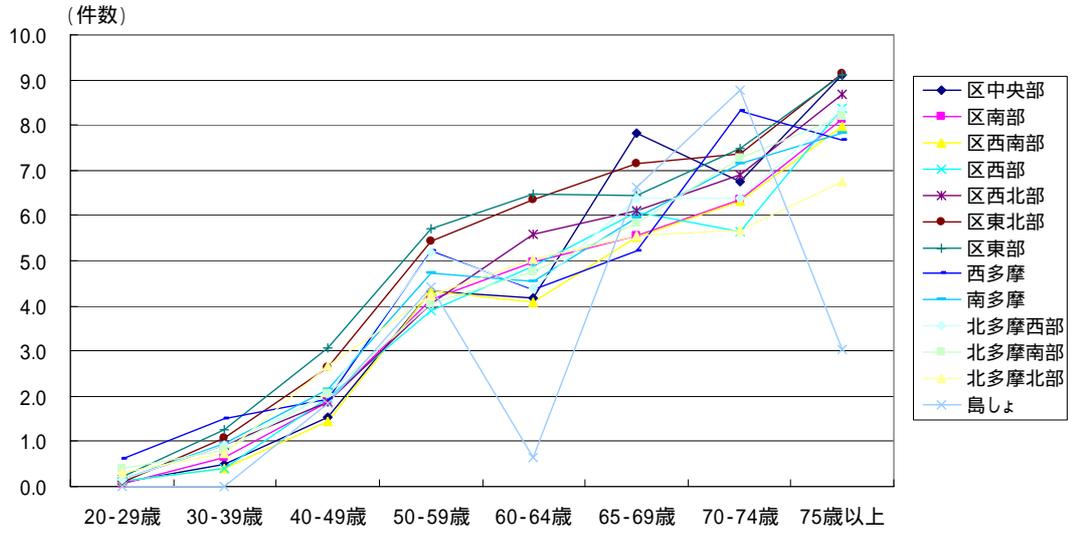
図表 4-4-133 腎不全 年齢階級別 一人当たり医療費 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



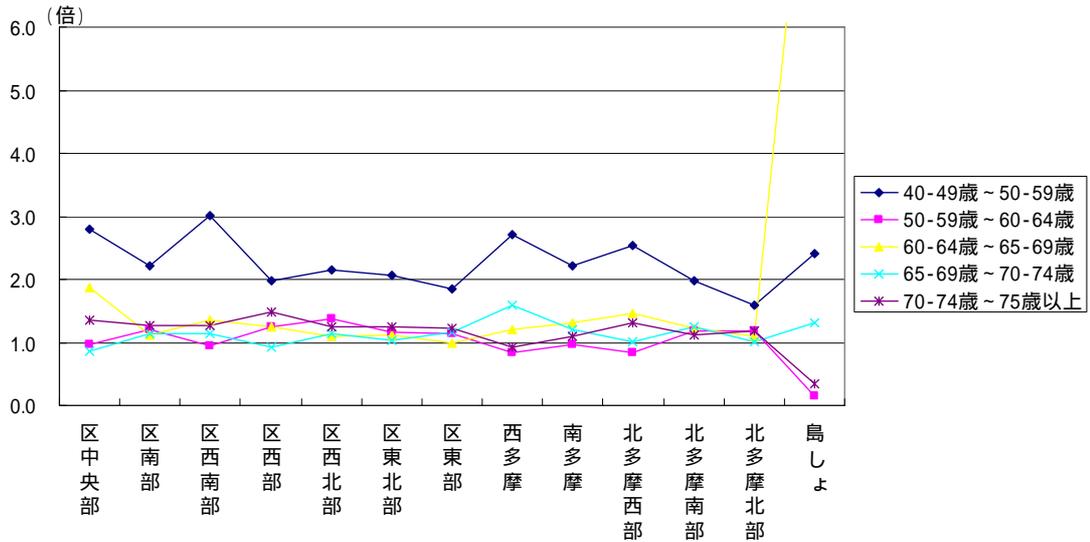
図表 4-4-134 腎不全 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-135 腎不全 年齢階級別 受診率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



図表 4-4-136 腎不全 受診率の年齢階級別の伸び（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



以上のように、腎泌尿生殖器の疾患の疾病構造を年齢階層別、及び二次保健医療圏・区市町村別に比較したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「腎泌尿生殖器の疾患の疾病構造の年齢階層別及び二次保健医療圏・区市町村別の比較」

【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 腎泌尿生殖器の疾患を疾病中分類で見ると、「腎不全」の医療費占有率が圧倒的に高く、「腎不全」の医療費の推移が東京都の医療費に大きな影響を与えられとされる。
- ・ 腎泌尿生殖器の疾患の医療費について、療養区分別の割合をみると、入院外医療費の占める割合が大きい。
- ・ 二次保健医療圏、区市町村別にみると、「腎不全」の受診率に地域間の大きな差は見られなかった。また、一人当たり医療費についても全ての年齢階層において一定の地域が高いといった傾向は見られなかった。
- ・ さらに、年齢階層別に見ると、「腎不全」の一人当たり医療費及び受診率の伸びに大きな差は見られなかった。

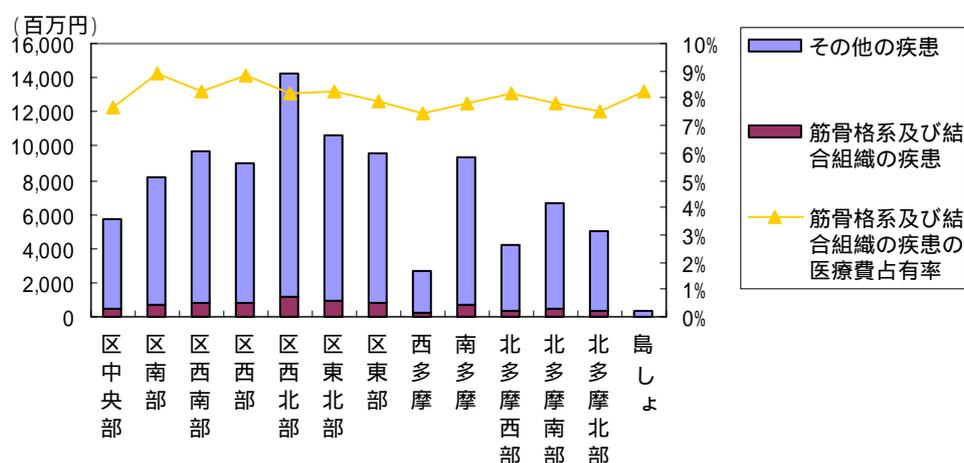


### 筋骨格系及び結合組織の疾患

「筋骨格系及び結合組織」の疾病構造を、二次保健医療圏・区市町村別及び年齢階層別に把握する。

- 40歳以上の医療費における「筋骨格系及び結合組織の疾患」の占める割合は、各二次保健医療圏は8～9%台に分布しており、23区に比べ多摩地区が全般的にやや低めとなっている。
- 中分類を見ると、「脊椎障害」「関節症」の占有率が比較的大きい。

図表 4-4-137 二次保健医療圏別 40歳以上における筋骨格系及び結合組織の疾患の医療費占有率（平成18年11月診療分 医科計）



図表 4-4-138 40歳以上における筋骨格系及び結合組織の疾患の疾病中分類（平成18年11月診療分 医科計）

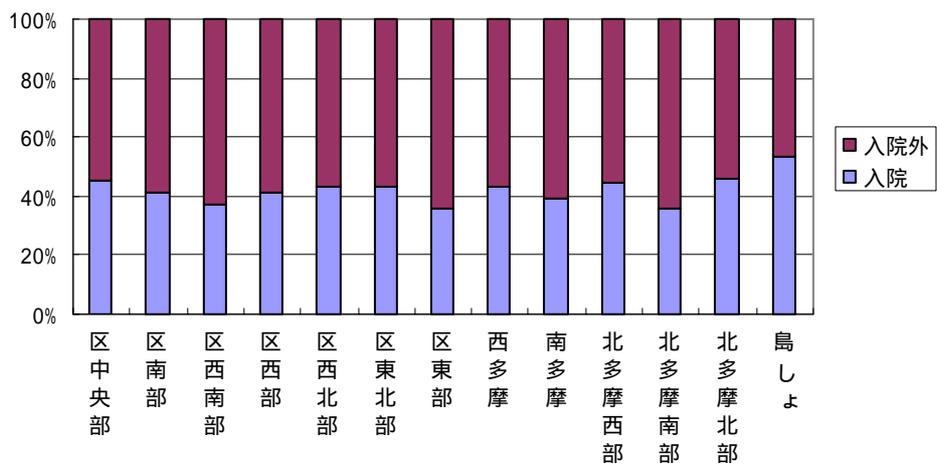
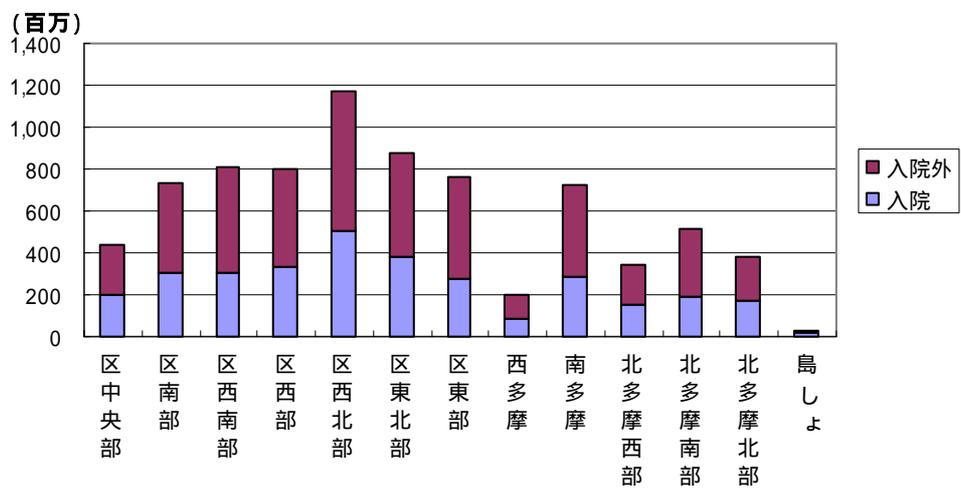
中分類	医療費 (円)	占有率
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,144,418,280	27.6%
1302 関節症	1,774,886,940	22.8%
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,350,753,000	17.4%
1301 炎症性多発性関節障害	794,883,150	10.2%
1309 骨の密度及び構造の障害	633,966,740	8.1%
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	316,883,170	4.1%
1304 椎間板障害	308,712,070	4.0%
1307 その他の脊柱障害	211,420,570	2.7%
1308 肩の傷害<損傷>	182,907,350	2.4%
1305 頸腕症候群	61,052,890	0.8%
計	7,779,884,160	100.0%

図表 4-4-139 区市町村別 40 歳以上における筋骨格系及び結合組織の疾患の

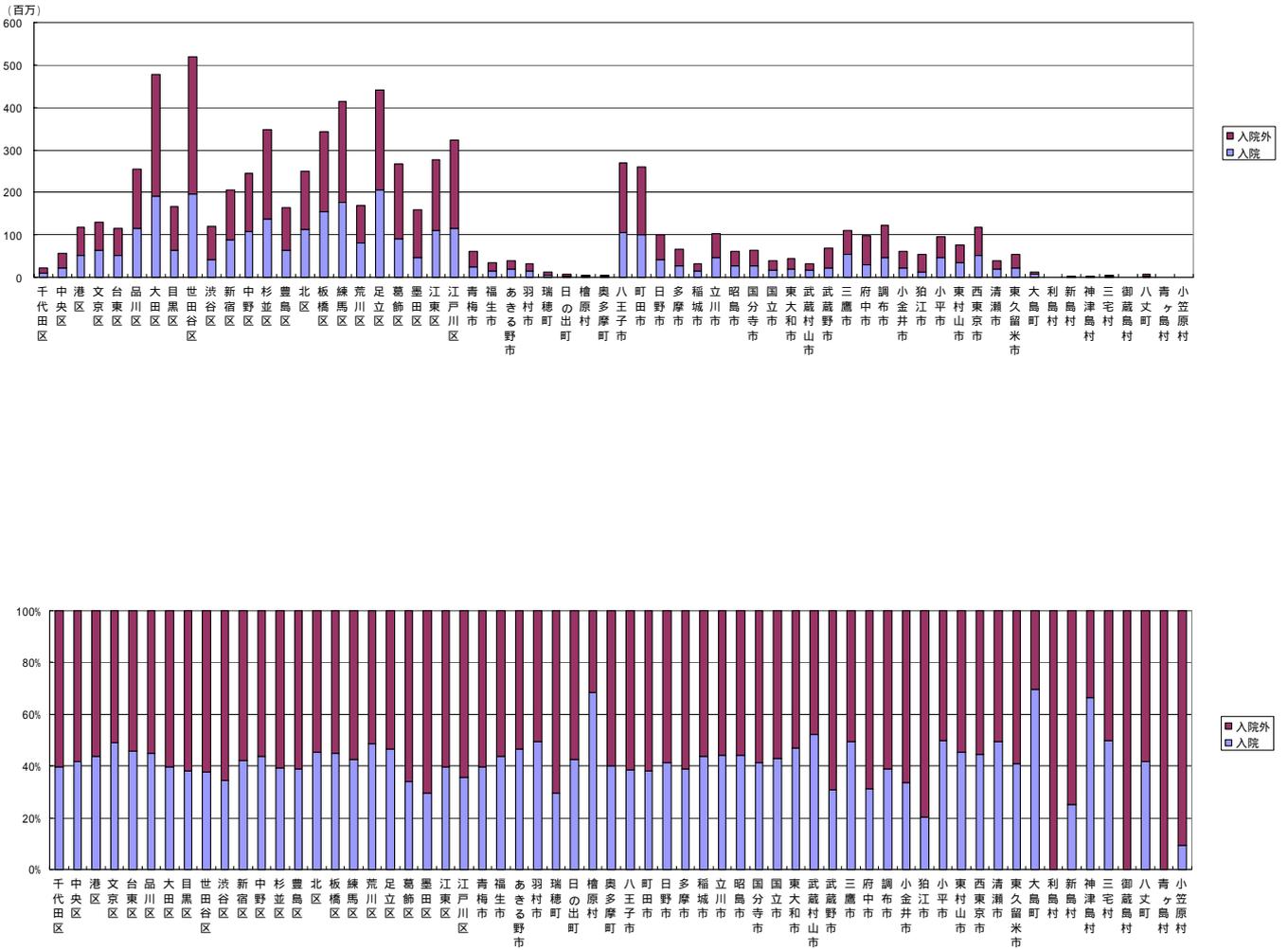
医療費と占有率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）

No.	区市町村	二次保健医療圏	医療費(円)	医療費占有率
1	千代田区	区中央部	22,895,130	6.6%
2	中央区	区中央部	55,122,970	7.8%
3	港区	区中央部	118,129,660	7.6%
5	文京区	区中央部	128,967,920	8.4%
6	台東区	区中央部	114,742,360	7.2%
9	品川区	区南部	254,269,320	9.3%
11	大田区	区南部	478,116,590	8.7%
10	目黒区	区西南部	165,379,860	8.6%
12	世田谷区	区西南部	519,718,610	8.4%
13	渋谷区	区西南部	120,393,720	7.4%
4	新宿区	区西部	206,137,140	8.4%
14	中野区	区西部	245,893,050	9.9%
15	杉並区	区西部	347,594,470	8.5%
16	豊島区	区西北部	165,185,490	7.8%
17	北区	区西北部	250,018,890	7.8%
19	板橋区	区西北部	342,881,210	8.4%
20	練馬区	区西北部	414,639,970	8.5%
18	荒川区	区東北部	167,761,690	9.7%
21	足立区	区東北部	441,342,450	8.1%
22	葛飾区	区東北部	266,900,150	7.6%
7	墨田区	区東部	159,826,070	8.0%
8	江東区	区東部	276,164,100	8.8%
23	江戸川区	区東部	324,172,210	7.3%
28	青梅市	西多摩	61,333,390	6.9%
40	福生市	西多摩	35,304,470	8.7%
48	あきる野市	西多摩	39,846,710	7.0%
49	羽村市	西多摩	30,886,750	9.2%
50	瑞穂町	西多摩	13,047,040	5.8%
51	日の出町	西多摩	6,630,480	6.0%
52	檜原村	西多摩	4,447,400	13.4%
53	奥多摩町	西多摩	5,451,540	7.7%
24	八王子市	南多摩	269,598,010	7.3%
32	町田市	南多摩	260,463,770	8.8%
35	日野市	南多摩	99,984,730	8.3%
46	多摩市	南多摩	67,329,510	6.8%
47	稲城市	南多摩	31,101,300	7.2%
25	立川市	北多摩西部	103,367,620	8.7%
30	昭島市	北多摩西部	60,996,070	7.8%
37	国分寺市	北多摩西部	62,554,630	8.5%
38	国立市	北多摩西部	40,350,880	8.6%
42	東大和市	北多摩西部	42,960,710	8.0%
45	武蔵村山市	北多摩西部	31,457,210	6.8%
26	武蔵野市	北多摩南部	68,561,540	7.1%
27	三鷹市	北多摩南部	110,632,620	8.6%
29	府中市	北多摩南部	98,783,930	6.4%
31	調布市	北多摩南部	122,122,110	8.4%
33	小金井市	北多摩南部	62,406,100	8.2%
41	狛江市	北多摩南部	55,050,460	8.8%
34	小平市	北多摩北部	95,036,190	7.8%
36	東村山市	北多摩北部	76,028,770	7.0%
39	西東京市	北多摩北部	116,486,070	8.4%
43	清瀬市	北多摩北部	39,843,100	6.9%
44	東久留米市	北多摩北部	52,851,900	6.5%
54	大島町	島しょ	11,185,710	10.1%
55	利島村	島しょ	349,930	8.8%
56	新島村	島しょ	2,786,410	6.6%
57	神津島村	島しょ	3,146,080	12.7%
58	三宅村	島しょ	4,298,110	10.5%
59	御蔵島村	島しょ	65,300	3.4%
60	八丈町	島しょ	6,241,570	5.8%
61	青ヶ島村	島しょ	78,900	9.5%
62	小笠原村	島しょ	564,110	4.0%

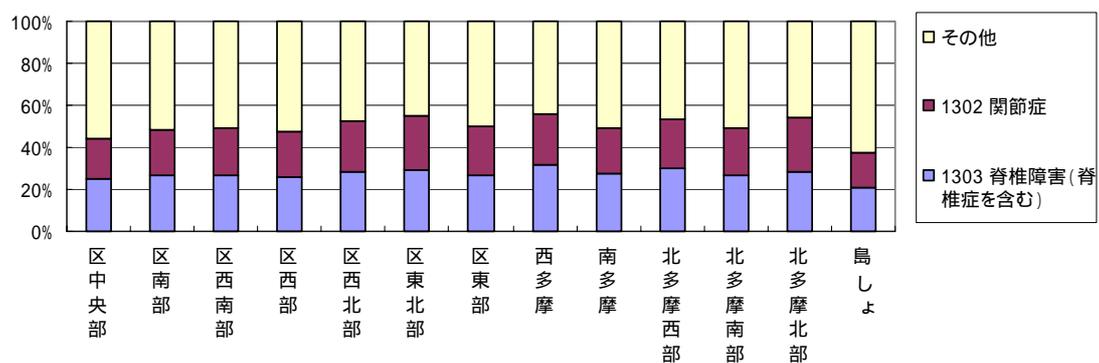
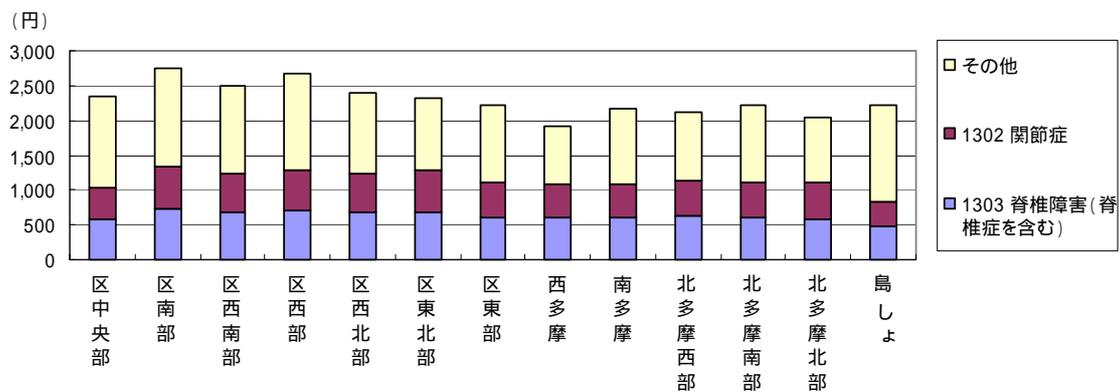
図表 4-4-140 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 療養区分別医療費  
 (40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-141 区市町村別 筋骨格系及び結合組織の疾患 療養区分別医療費 (40 歳以上)  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



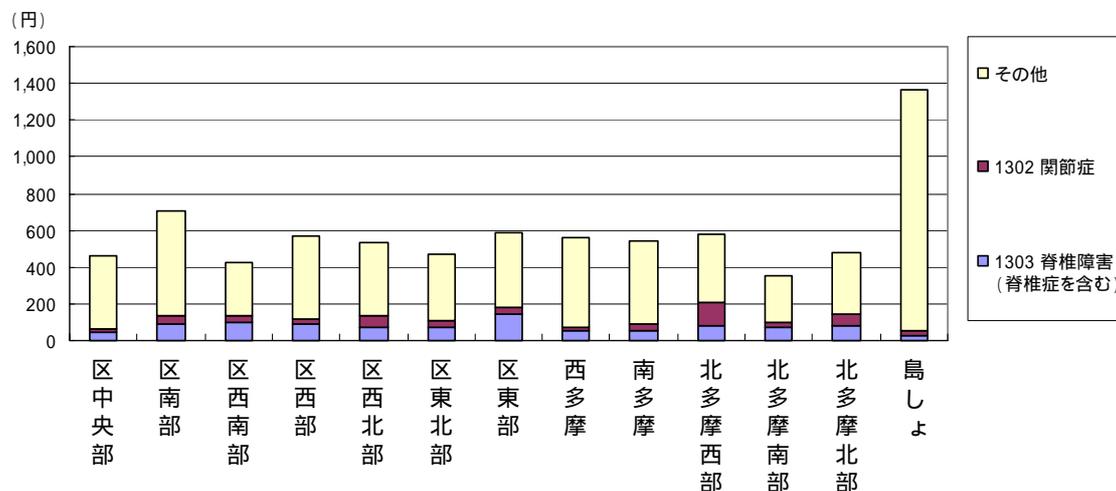
図表 4-4-142 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別 1人当たり医療費  
 (40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)





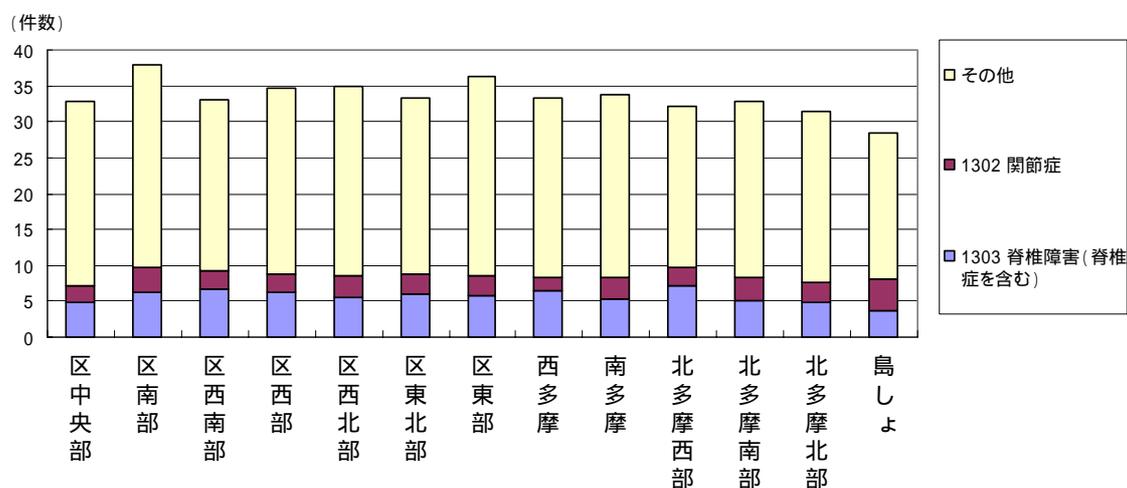
図表 4-4-144 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患

中分類別一人当たり医療費 (40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)



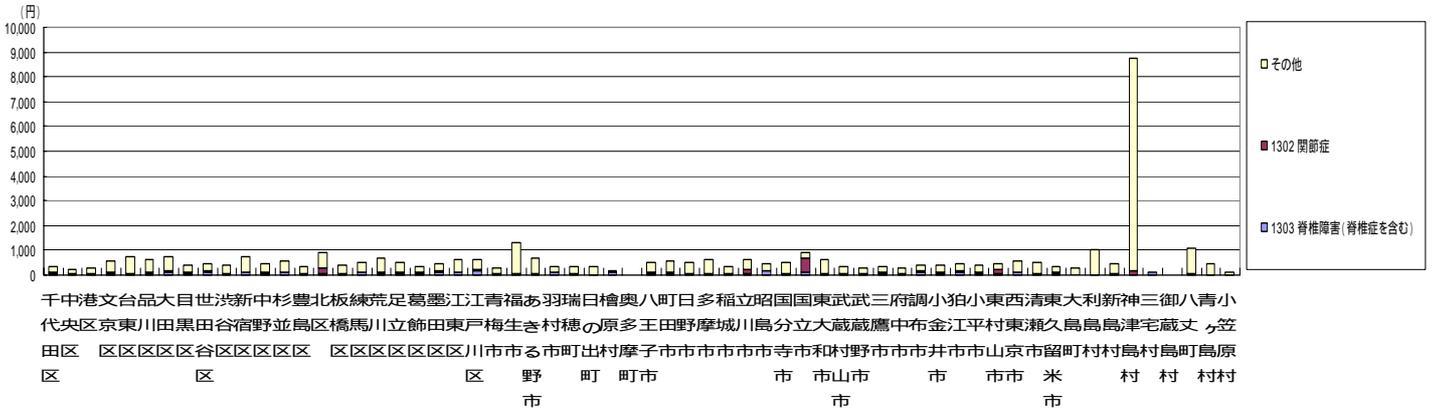
図表 4-4-145 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率

(40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)

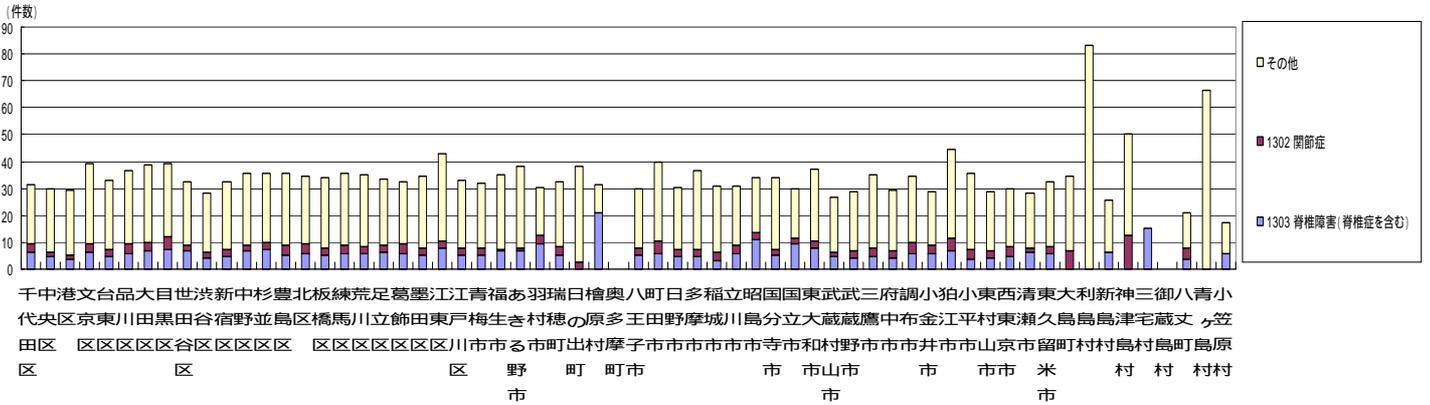


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「脊椎障害」の占める割合が高く、費用額が最も高い区東部で142円となっている。
- 「関節症」は、北多摩西部の126円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-146 区市町村別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)



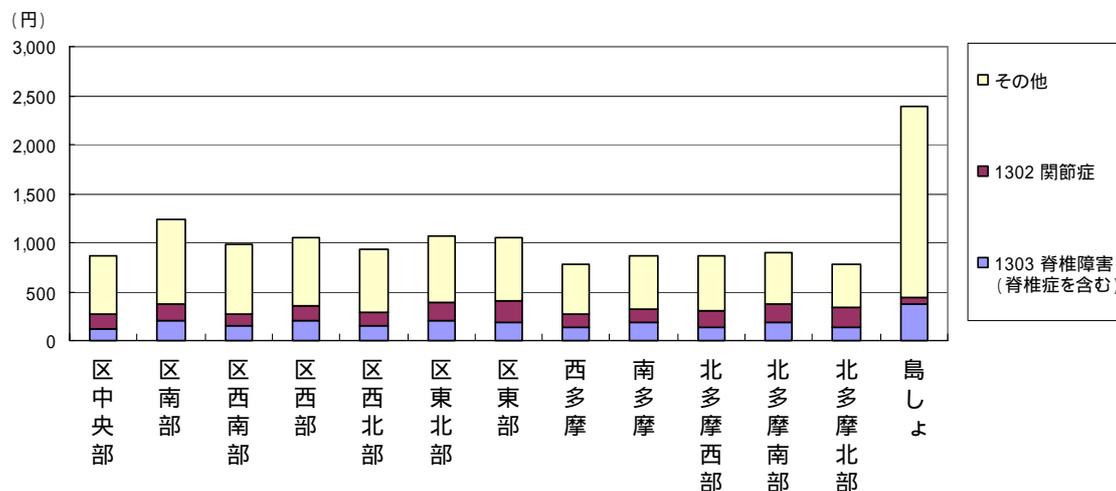
図表 4-4-147 区市町村別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率 (40歳～49歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)



- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「脊椎障害」の占める割合が高く、費用額の最も高い江戸川区で174円となっている。
- 「関節症」は、国立市の586円が最も高い費用額となっている。

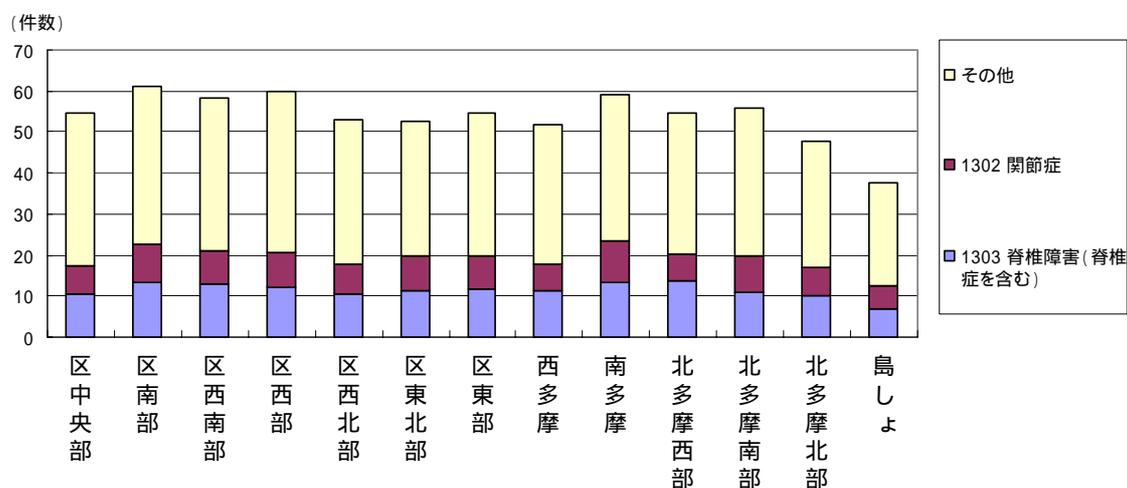
図表 4-4-148 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患

中分類別一人当たり医療費 (50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-149 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率

(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)

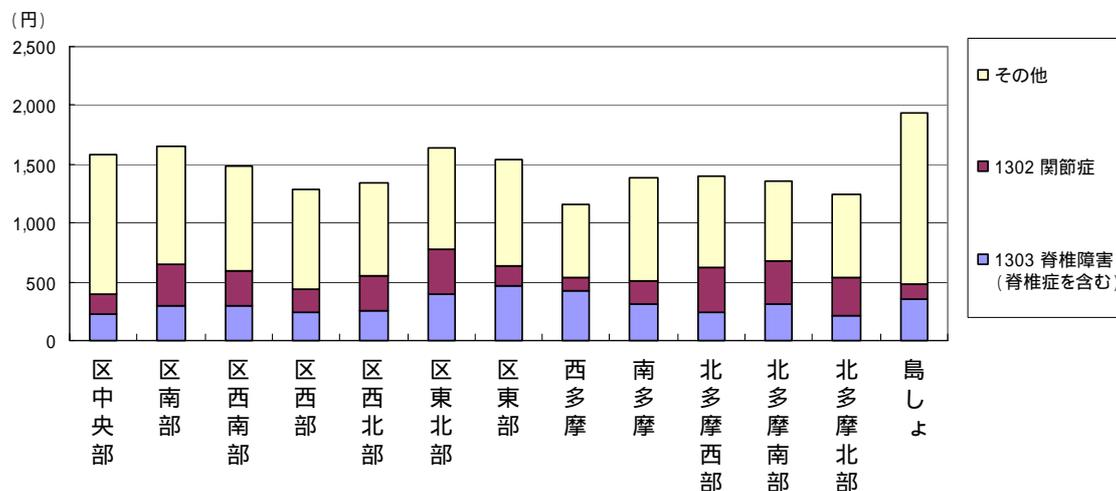


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「脊椎障害」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い区中央部で115円、費用額が最も高い区南部で204円となっている。
- 「関節症」は、島しょを除くと、費用額が最も低い区西南部で128円、費用額が最も高い区東部で228円となっている。



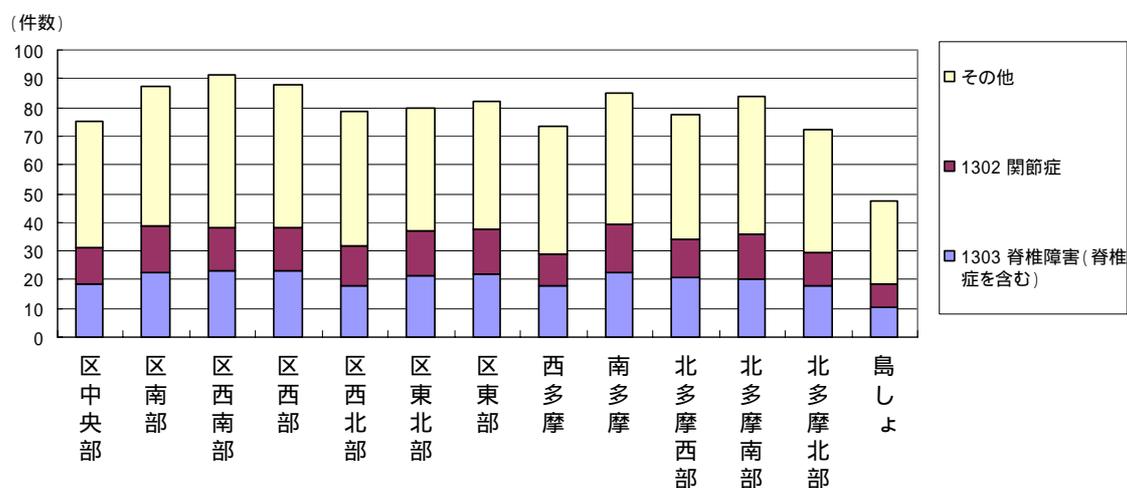
図表 4-4-152 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患

中分類別一人当たり医療費 (60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-153 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率

(60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)

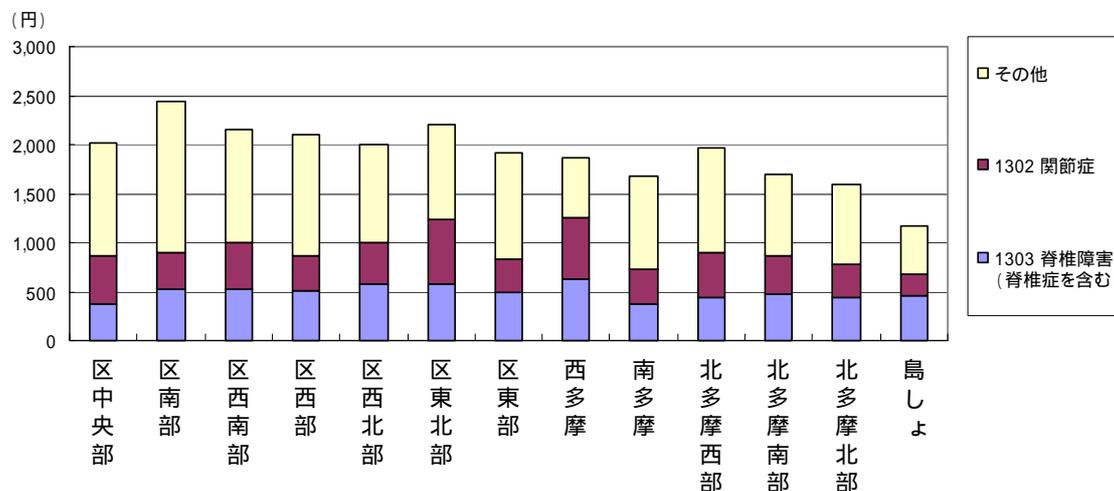


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「脊椎障害」の占める割合が高く、費用額が最も低い北多摩北部で 207 円、費用額が最も高い区東部で 464 円となっている。
- 「関節症」は、費用額が最も低い西多摩で 118 円、費用額が最も高い北多摩西部で 388 円となっている。



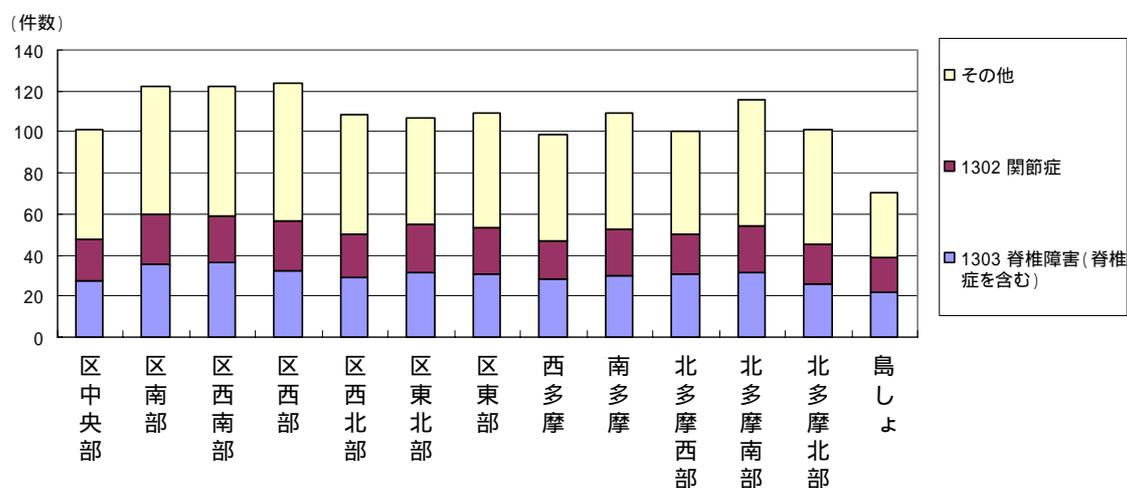
図表 4-4-156 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患

中分類別一人当たり医療費 (65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)



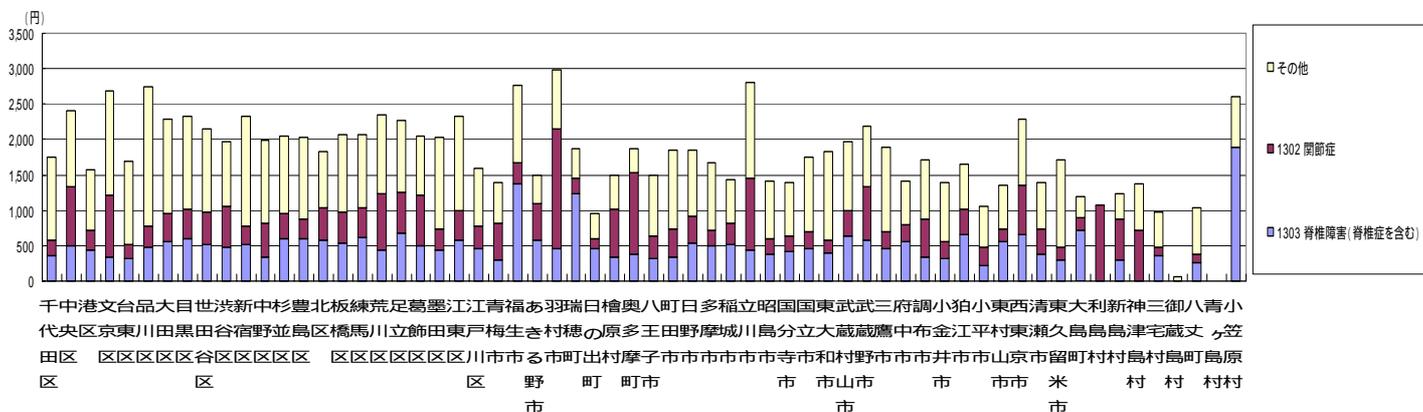
図表 4-4-157 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率

(65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)

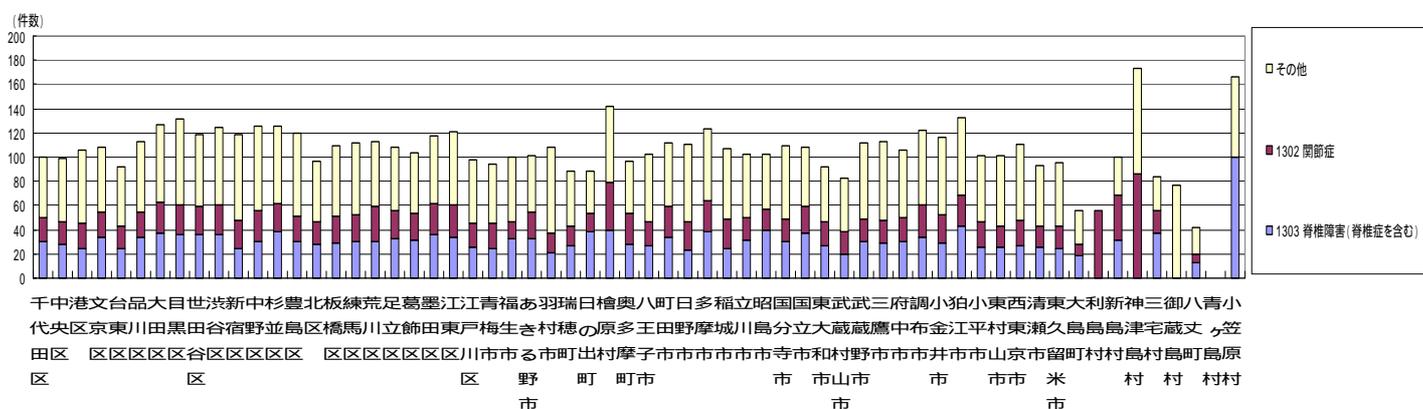


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「脊椎障害」の占める割合が高く、費用額が最も低い区中央部で 376 円、費用額が最も高い西多摩で 621 円となっている。
- 「関節症」は、島しょを除くと、費用額が最も低い南多摩で 339 円、費用額が最も高い区東北部で 656 円となっている。

図表 4-4-158 区市町村別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別一人当たり医療費  
(65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)



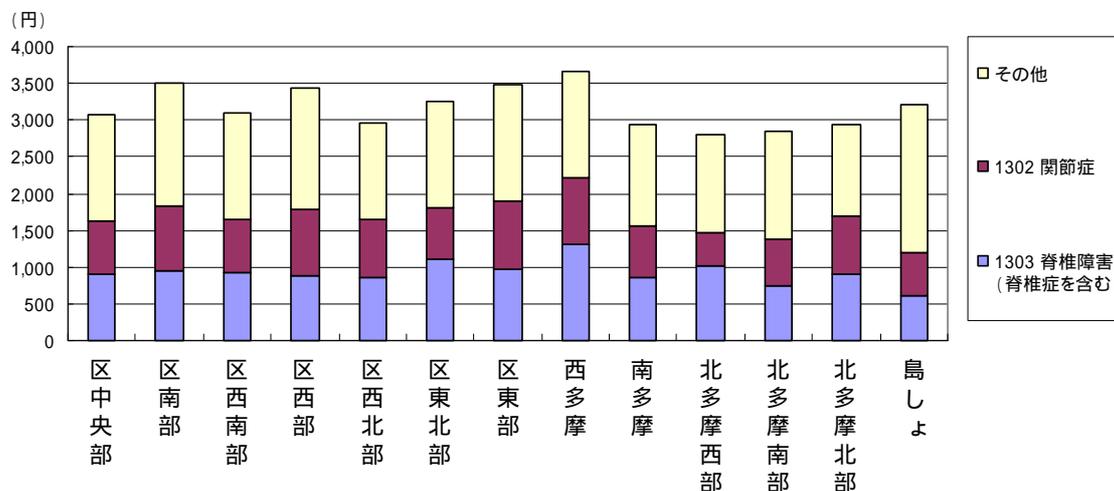
図表 4-4-159 区市町村別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率 (65歳～69歳)  
(平成18年11月診療分 医科計)



- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「脊椎障害」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額の最も低い小平市で 212 円、費用額の最も高い福生市で 1,372 円となっている。
- 「関節症」は、島しょを除くと、費用額の最も低い日の出町で 148 円、費用額の最も高い羽村市で 1,687 円となっている。

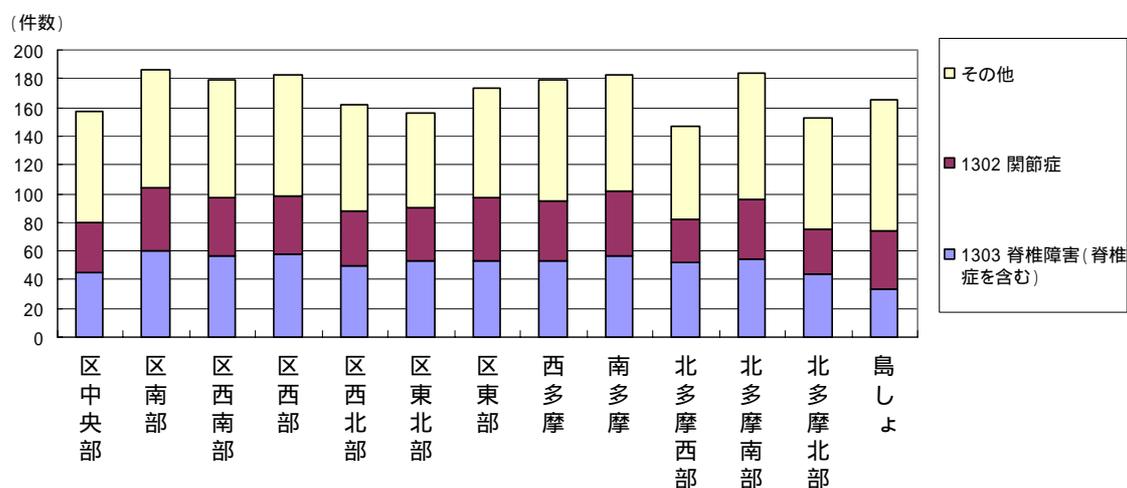
図表 4-4-160 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患

中分類別一人当たり医療費 (70歳~74歳)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-161 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率

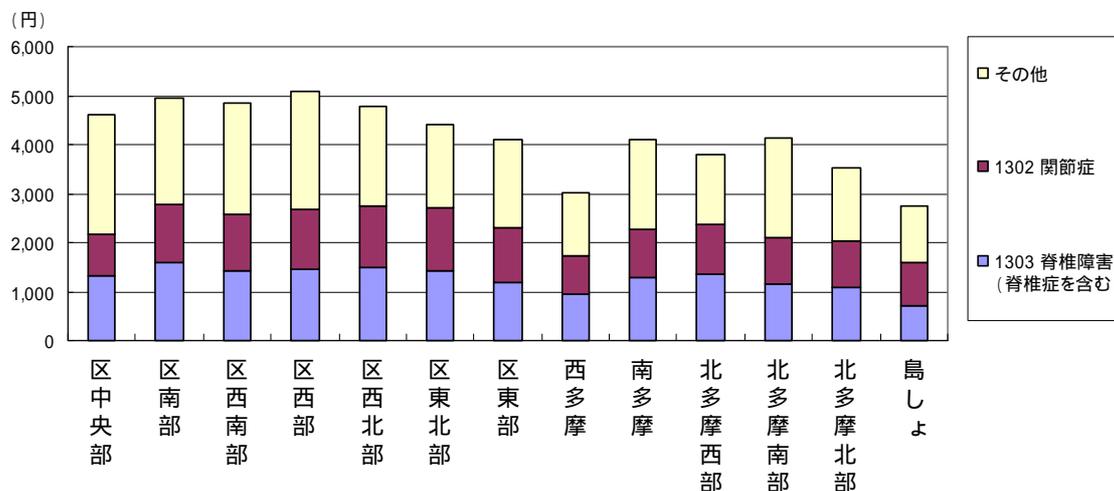
(70歳~74歳)(平成18年11月診療分 医科計)



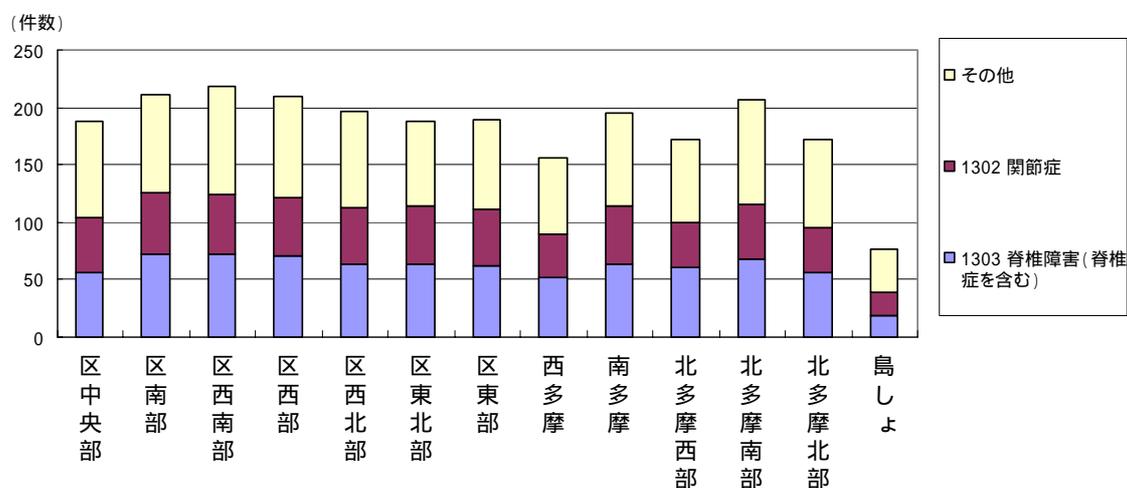
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「脊椎障害」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 753 円、費用額が最も高い西多摩で 1.303 円となっている。
- 「関節症」は、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で 448 円、費用額が最も高い区東部で 929 円となっている。



図表 4-4-164 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患  
中分類別一人当たり医療費 (75 歳以上)(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-165 二次保健医療圏別 筋骨格系及び結合組織の疾患 中分類別受診率  
(75 歳以上)(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

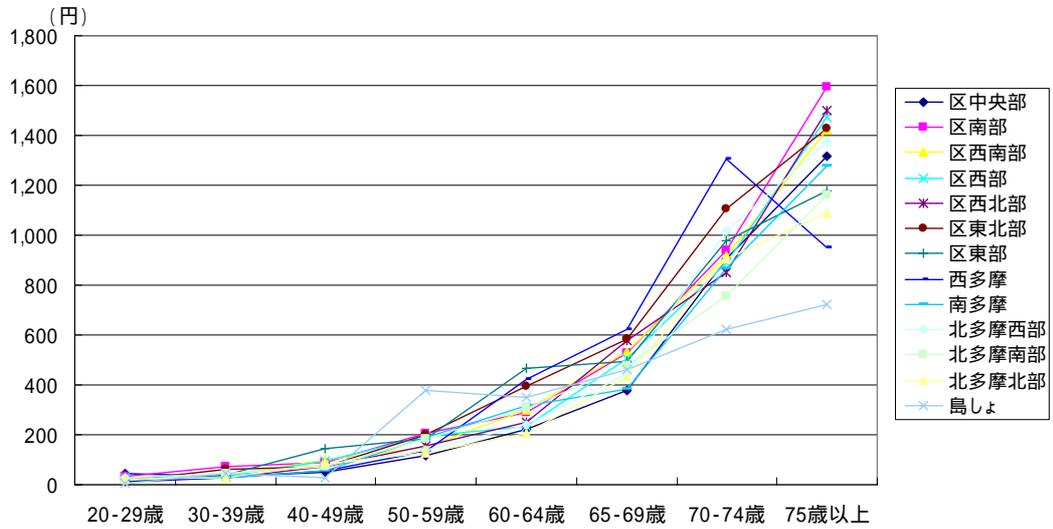


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの二次保健医療圏において「脊椎障害」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 948 円、費用額が最も高い区南部で 1,595 円となっている。
- 「関節症」は、費用額が最も低い西多摩で 778 円、費用額が最も高い区東北部で 1,274 円となっている。

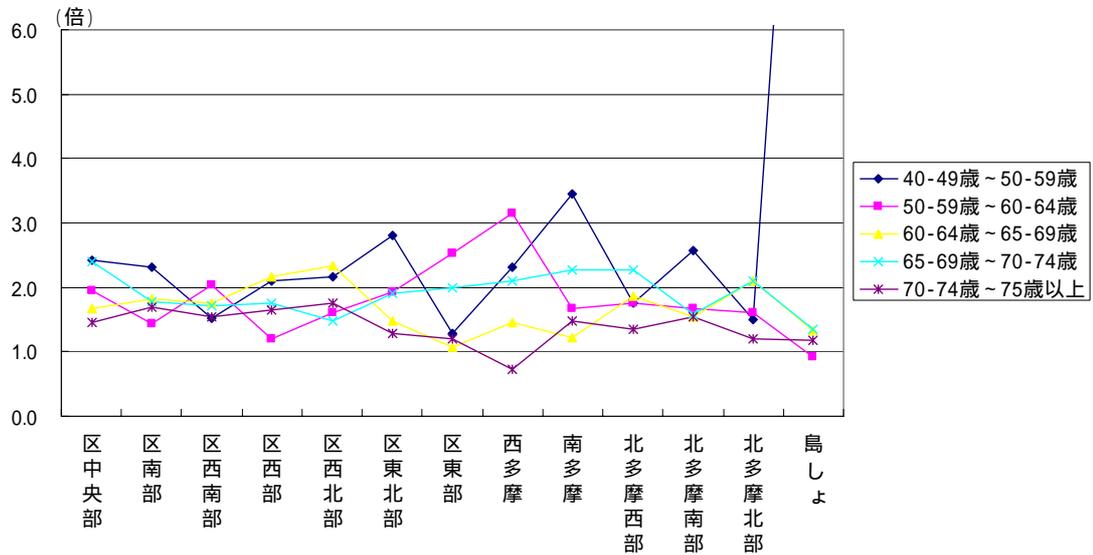


(参考)

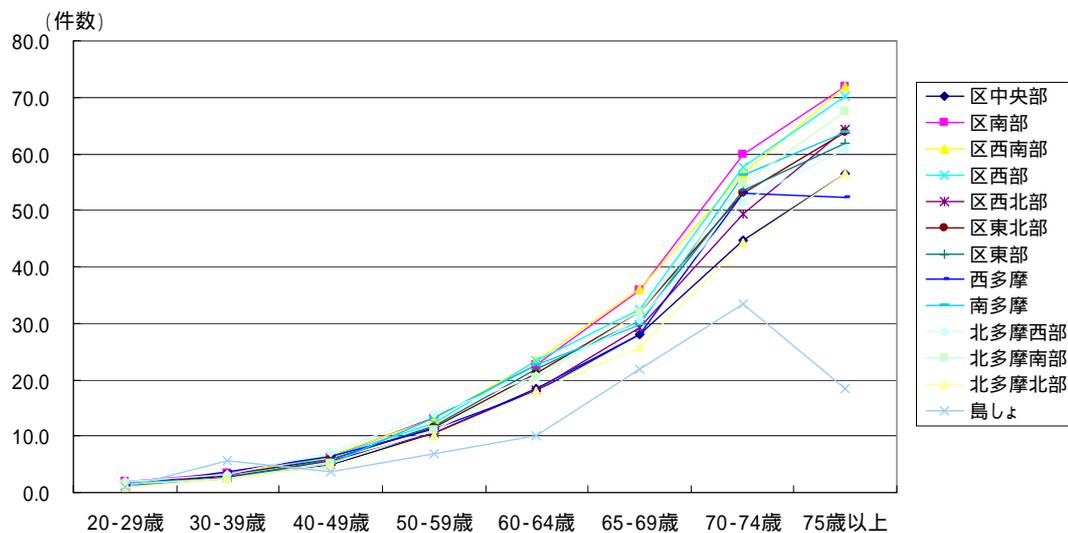
図表 4-4-168 脊椎障害 年齢階級別 一人当たり医療費 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



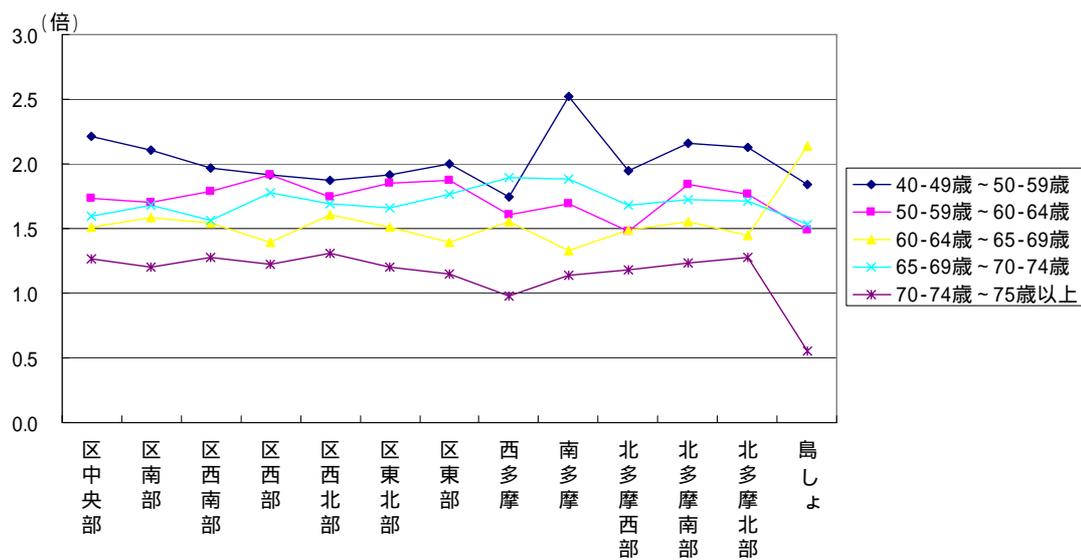
図表 4-4-169 脊椎障害 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



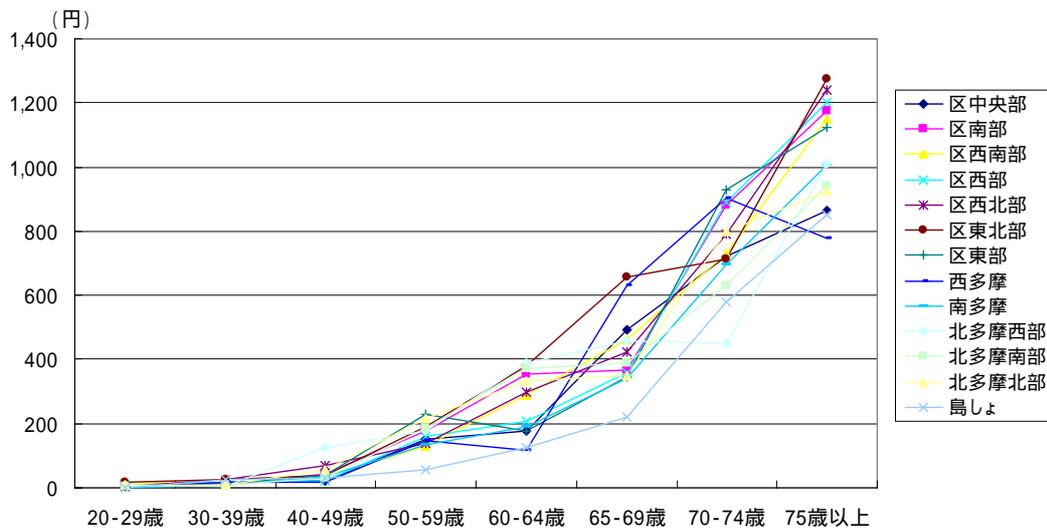
図表 4-4-170 脊椎障害 年齢階級別 受診率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



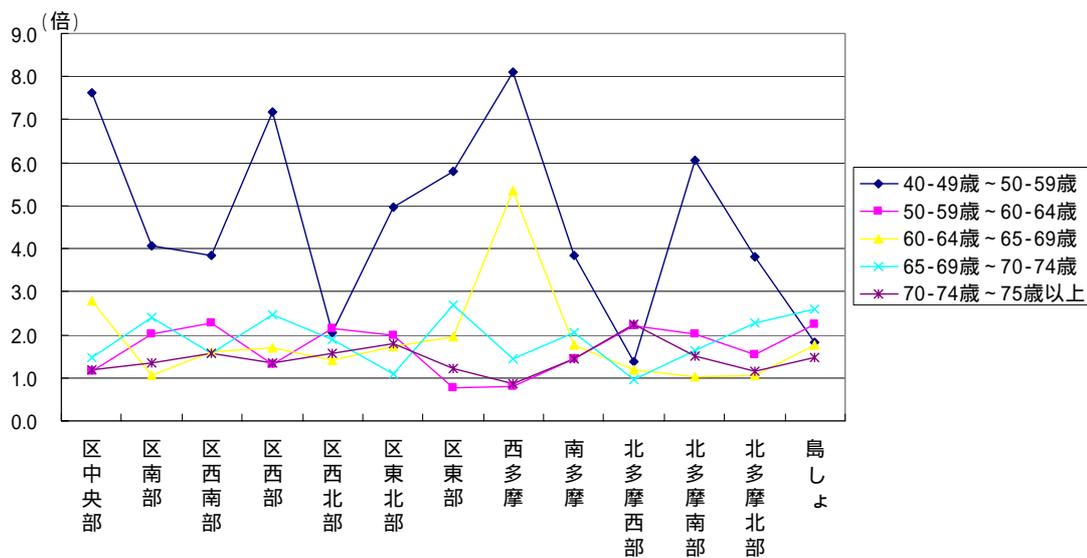
図表 4-4-171 脊椎障害 受診率の年齢階級別の伸び（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



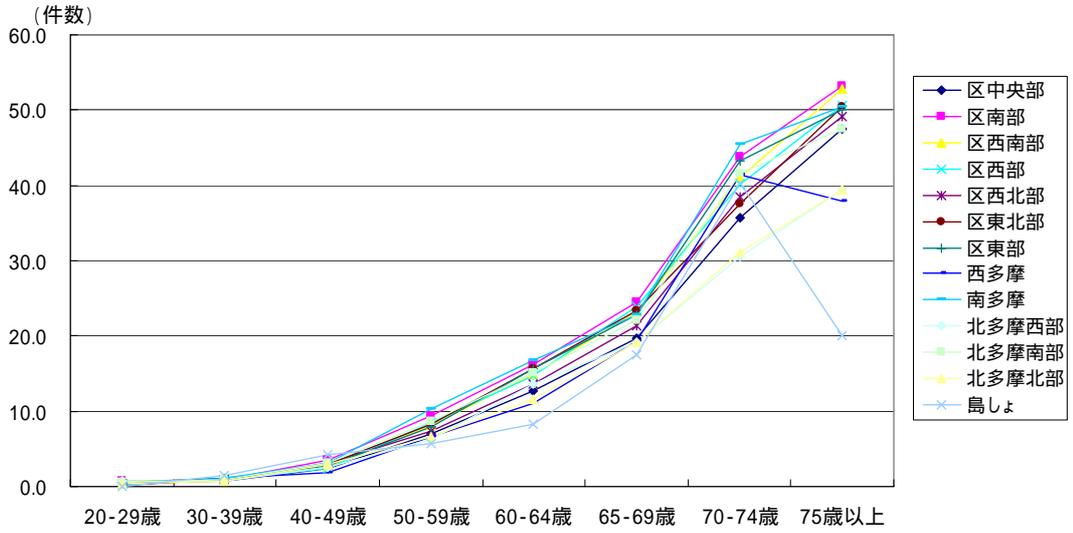
図表 4-4-172 関節症 年齢階級別 一人当たり医療費（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



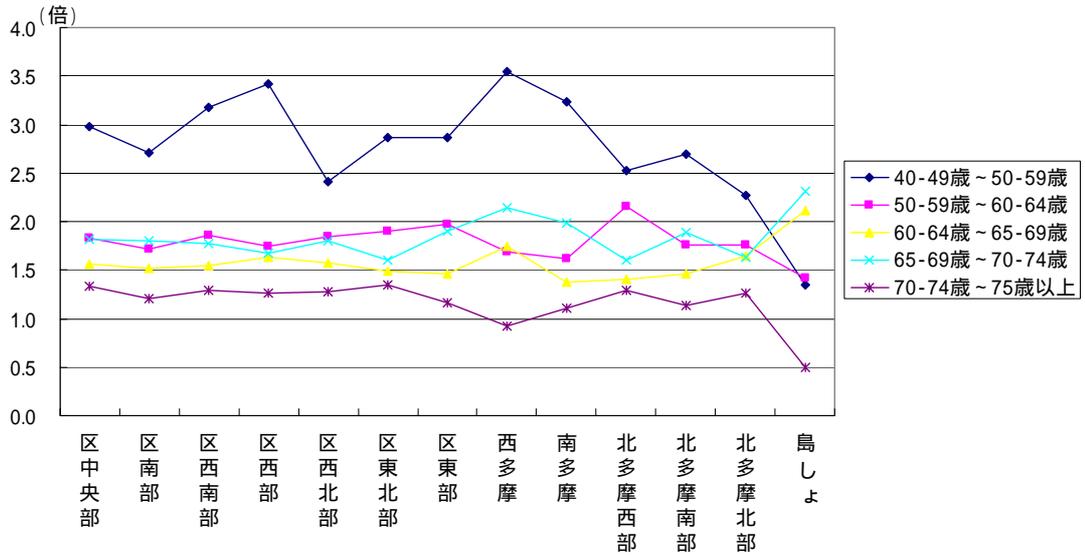
図表 4-4-173 関節症 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び  
（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



図表 4-4-174 関節症 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-175 関節症 受診率の年齢階級別の伸び (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



以上のように、筋骨格系及び結合組織の疾患の疾病構造を年齢階層別、及び二次保健医療圏・区市町村別に比較したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「筋骨格系及び結合組織の疾患の疾病構造の年齢階層別及び二次保健医療圏・区市町村別の比較」

【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 筋骨格系及び結合組織の疾患を疾病中分類で見ると、特に「脊椎障害（脊椎症を含む）」「関節症」の医療費占有率が高く、これらの疾病における医療費の推移が東京都の医療費に大きな影響を与えられとされる。
- ・ 年齢階層別に見ると、「関節症」の一人当たり医療費の伸びは、40歳代から50歳代にかけての伸びが他の年齢階層と比較して大きく、受診率についても同様の傾向が見られる。
- ・ 二次保健医療圏、区市町村別にみると、「脊椎障害（脊椎症を含む）」「関節症」の一人当たり医療費、受診率に地域間の大きな差は見られなかった。
- ・ 年齢階層別に見ると、「脊椎障害（脊椎症を含む）」「関節症」の一人当たり医療費及び受診率の伸びに大きな差は見られなかった。

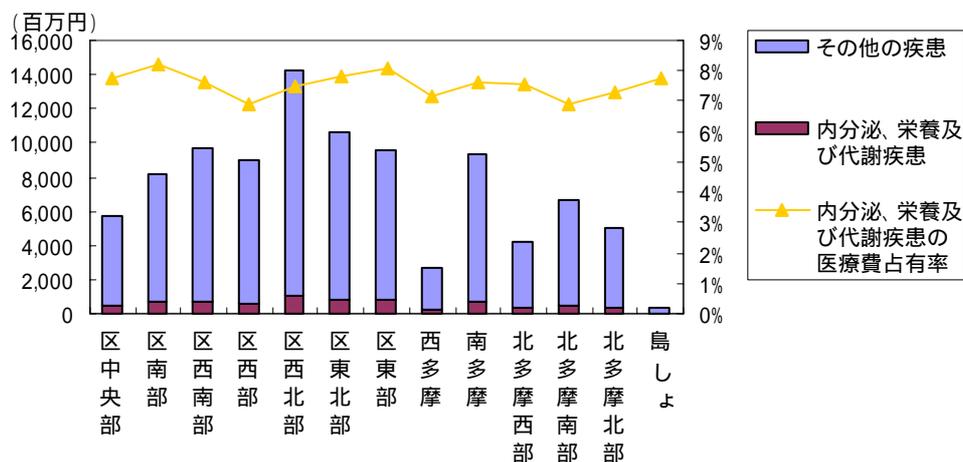


### 内分泌、栄養及び代謝疾患

内分泌、栄養及び代謝疾患構造を、二次保健医療圏・区市町村別及び年齢階層別に把握する。

- 40歳以上の医療費における「内分泌、栄養及び代謝疾患」の占める割合は、各二次保健医療圏は7～8%で分布している。
- 中分類では「糖尿病」が62%と過半数を占めている。
- 中分類では「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が34%を占めている。

図表 4-4-176 二次保健医療圏別 40歳以上における内分泌、栄養及び代謝疾患の医療費占有率（平成18年11月診療分 医科計）



図表 4-4-177 40歳以上における内分泌、栄養及び代謝疾患の疾病中分類（平成18年11月診療分 医科計）

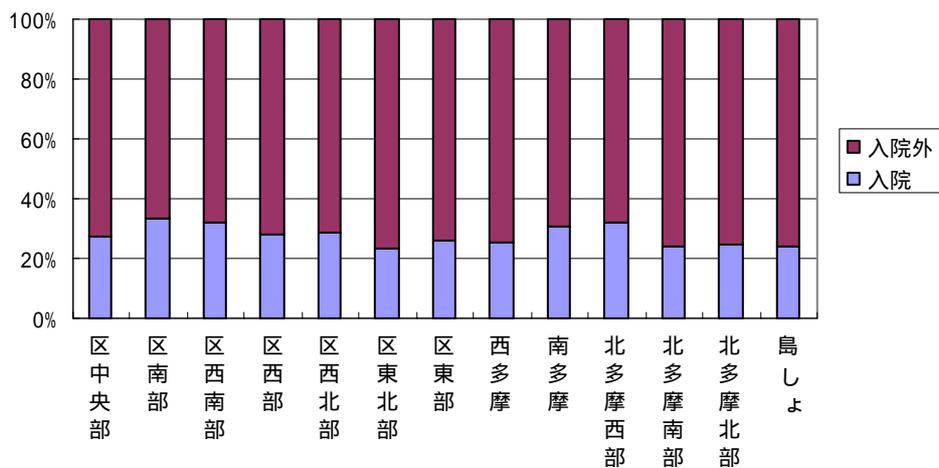
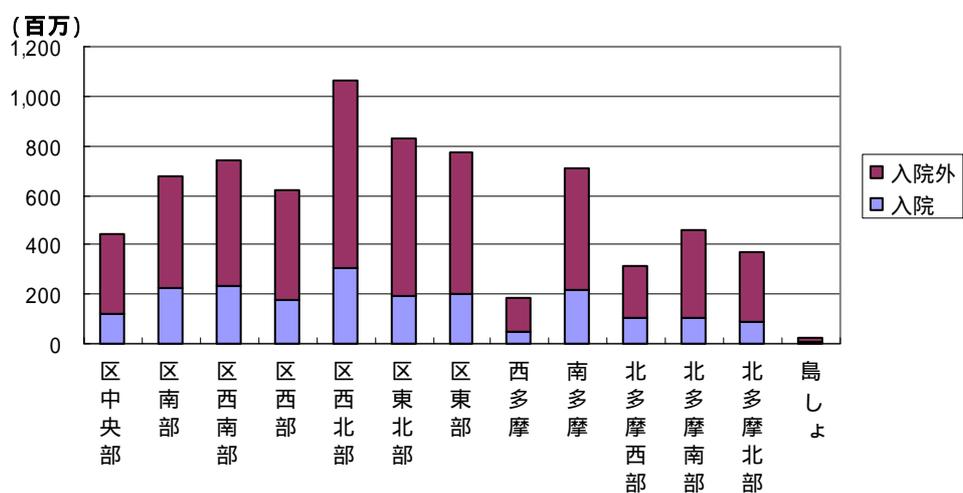
中分類	医療費 (円)	占有率
0402 糖尿病	4,454,720,320	61.7%
0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,440,017,420	33.8%
0401 甲状腺障害	326,585,320	4.5%
計	7,221,323,060	100.0%

図表 4-4-178 区市町村別 40 歳以上における内分泌、栄養及び代謝疾患の医療費と占有率

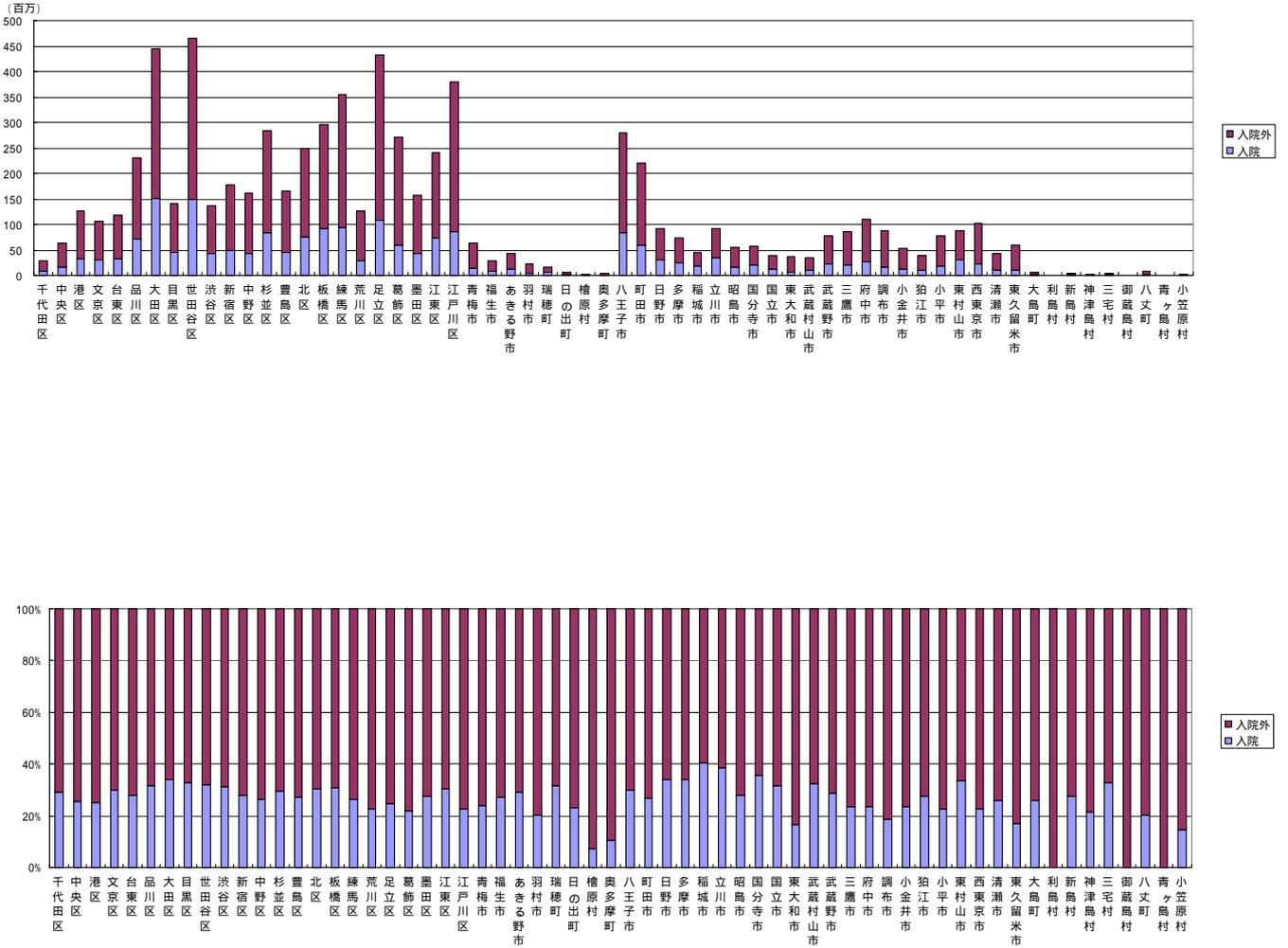
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

No.	区市町村	二次保健医療圏	医療費(円)	医療費占有率
1	千代田区	区中央部	27,983,320	8.1%
2	中央区	区中央部	62,964,270	8.9%
3	港区	区中央部	126,737,240	8.1%
5	文京区	区中央部	105,610,900	6.9%
6	台東区	区中央部	118,912,050	7.5%
9	品川区	区南部	230,207,040	8.4%
11	大田区	区南部	444,497,620	8.1%
10	目黒区	区西南部	140,725,010	7.3%
12	世田谷区	区西南部	465,699,310	7.6%
13	渋谷区	区西南部	136,165,710	8.3%
4	新宿区	区西部	177,261,250	7.2%
14	中野区	区西部	161,669,790	6.5%
15	杉並区	区西部	283,795,050	7.0%
16	豊島区	区西北部	166,127,090	7.8%
17	北区	区西北部	248,138,020	7.8%
19	板橋区	区西北部	296,107,630	7.3%
20	練馬区	区西北部	355,856,220	7.3%
18	荒川区	区東北部	126,241,050	7.3%
21	足立区	区東北部	433,074,190	8.0%
22	葛飾区	区東北部	272,089,320	7.8%
7	墨田区	区東部	157,111,310	7.9%
8	江東区	区東部	239,925,650	7.6%
23	江戸川区	区東部	379,828,030	8.5%
28	青梅市	西多摩	63,819,300	7.2%
40	福生市	西多摩	29,447,810	7.2%
48	あきる野市	西多摩	42,083,500	7.4%
49	羽村市	西多摩	23,269,410	6.9%
50	瑞穂町	西多摩	16,808,740	7.4%
51	日の出町	西多摩	6,957,460	6.3%
52	檜原村	西多摩	1,780,090	5.4%
53	奥多摩町	西多摩	4,611,980	6.5%
24	八王子市	南多摩	279,667,950	7.6%
32	町田市	南多摩	220,858,790	7.4%
35	日野市	南多摩	90,938,520	7.5%
46	多摩市	南多摩	73,581,650	7.4%
47	稲城市	南多摩	44,173,600	10.3%
25	立川市	北多摩西部	91,462,200	7.7%
30	昭島市	北多摩西部	55,377,560	7.1%
37	国分寺市	北多摩西部	57,609,200	7.8%
38	国立市	北多摩西部	38,695,670	8.2%
42	東大和市	北多摩西部	37,474,110	7.0%
45	武蔵村山市	北多摩西部	34,060,980	7.4%
26	武蔵野市	北多摩南部	78,330,340	8.1%
27	三鷹市	北多摩南部	86,130,330	6.7%
29	府中市	北多摩南部	110,859,350	7.2%
31	調布市	北多摩南部	88,420,590	6.1%
33	小金井市	北多摩南部	53,185,070	7.0%
41	狛江市	北多摩南部	38,931,800	6.2%
34	小平市	北多摩北部	77,091,930	6.4%
36	東村山市	北多摩北部	87,893,570	8.1%
39	西東京市	北多摩北部	102,088,690	7.4%
43	清瀬市	北多摩北部	42,381,980	7.3%
44	東久留米市	北多摩北部	59,544,960	7.3%
54	大島町	島しょ	5,253,790	4.7%
55	利島村	島しょ	148,230	3.7%
56	新島村	島しょ	4,017,760	9.4%
57	神津島村	島しょ	1,754,500	7.1%
58	三宅村	島しょ	4,986,500	12.2%
59	御蔵島村	島しょ	53,220	2.8%
60	八丈町	島しょ	9,051,780	8.4%
61	青ヶ島村	島しょ	63,500	7.7%
62	小笠原村	島しょ	1,729,580	12.3%

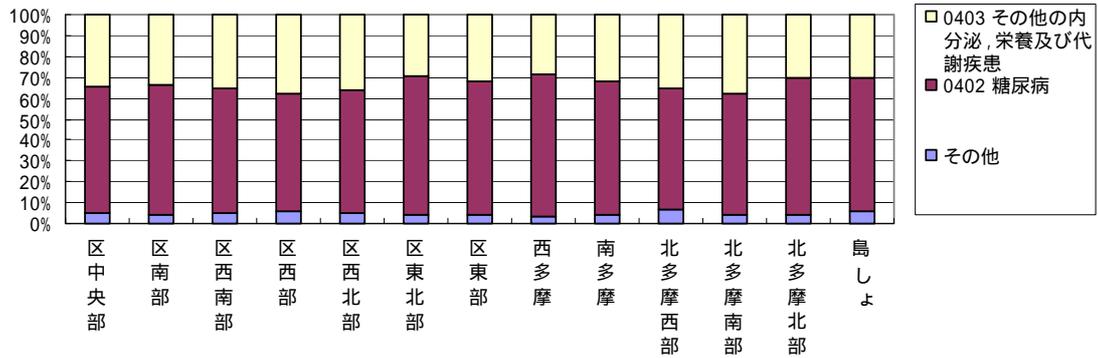
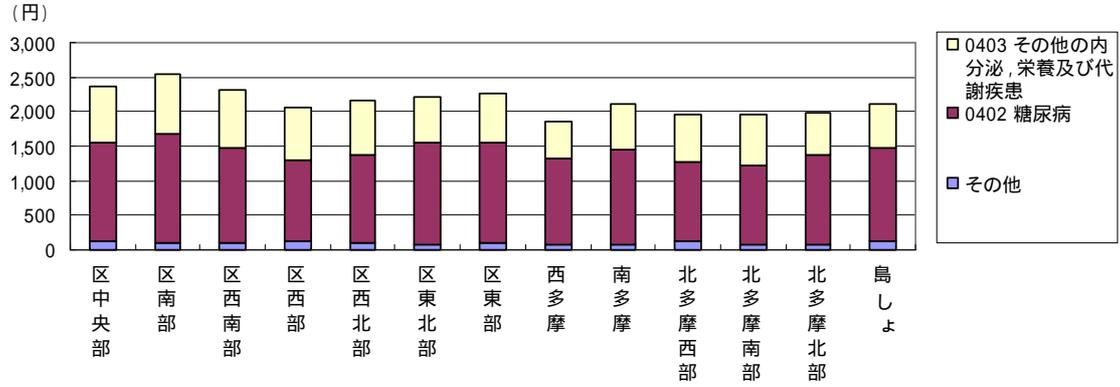
図表 4-4-179 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 療養区分別医療費  
 (40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



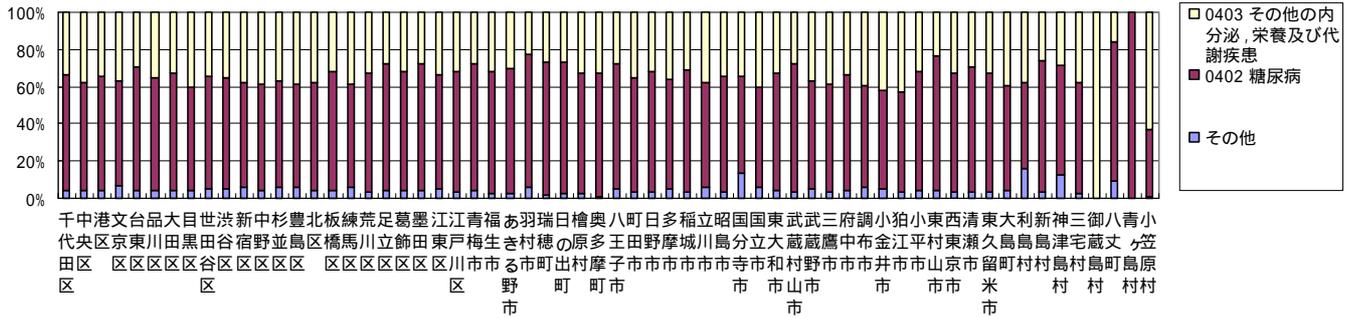
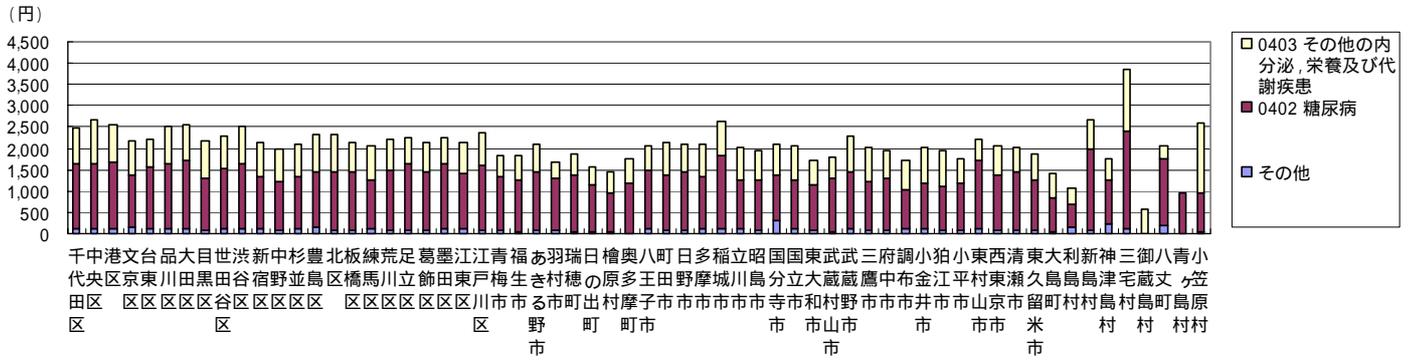
図表 4-4-180 区市町村別 内分泌、栄養及び代謝疾患 療養区別医療費（40歳以上）  
 （平成18年11月診療分 医科計）



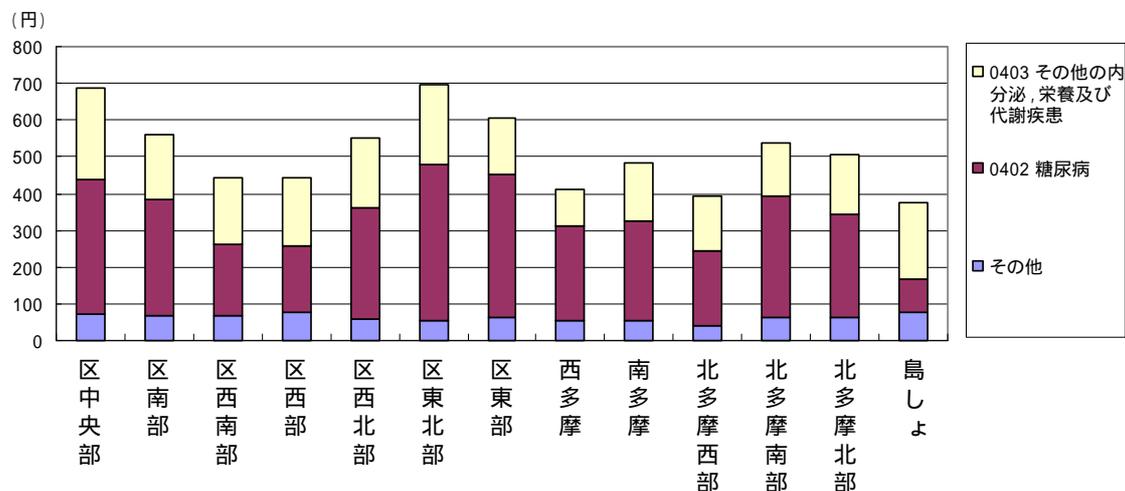
図表 4-4-181 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別 1人当たり医療費  
 (40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



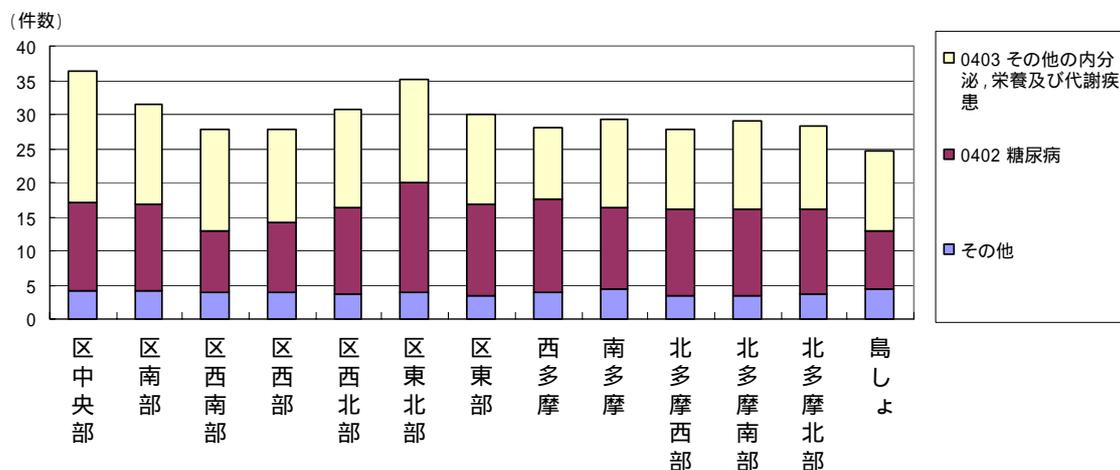
図表 4-4-182 区市町村別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別 1人当たり医療費  
(40歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-183 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)



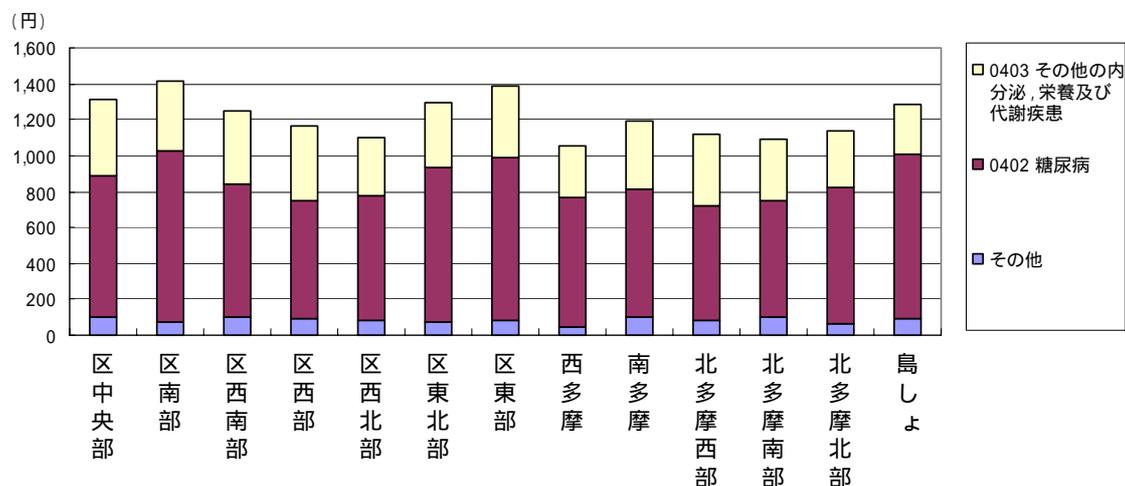
図表 4-4-184 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率  
(40歳～49歳)(平成18年11月診療分 医科計)



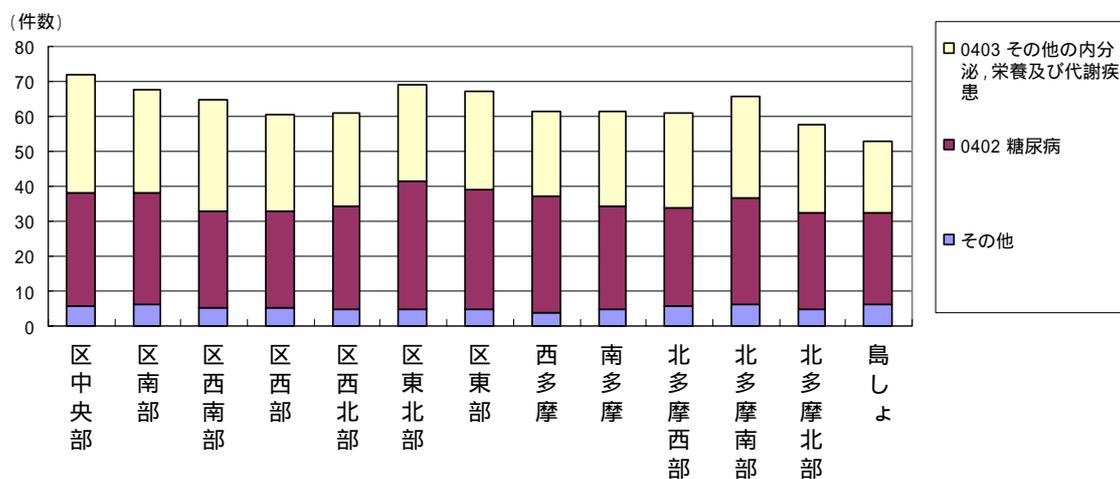
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い区西部で180円、費用額が最も高い区東北部で426円となっている。「糖尿病」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低と比較的同じ傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、費用額が最も低い西多摩で101円、費用額が最も高い区中央部で251円となっている。



図表 4-4-187 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)



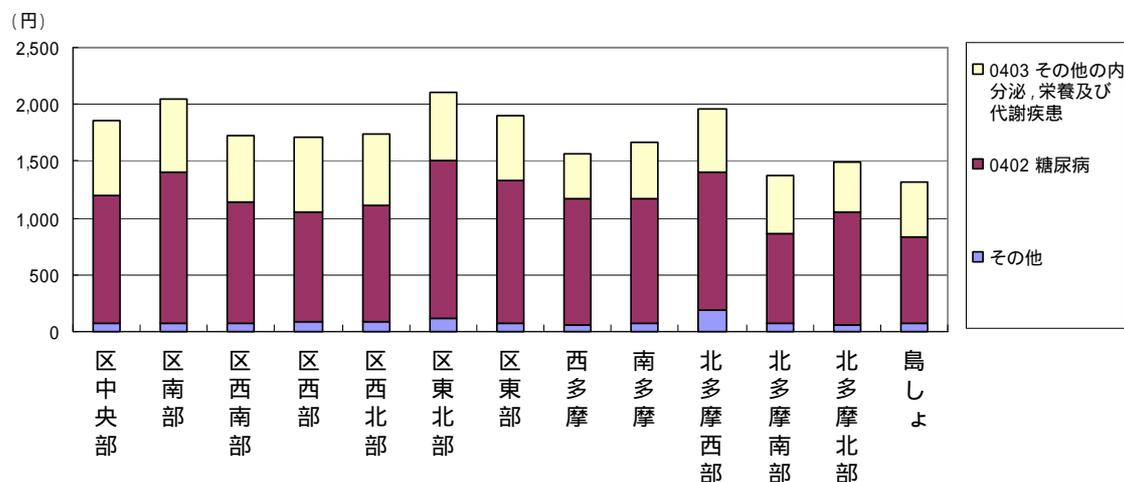
図表 4-4-188 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率  
(50歳～59歳)(平成18年11月診療分 医科計)



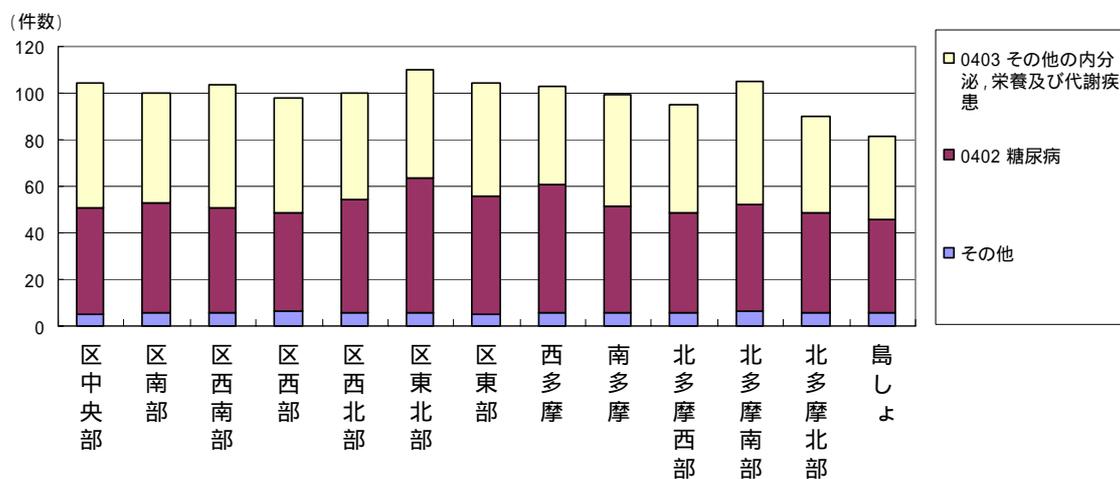
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、費用額が最も低い北多摩西部で 640 円、費用額が最も高い区南部で 952 円となっている。「糖尿病」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低と比較的同じ傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 281 円、費用額が最も高い区中央部で 426 円となっている。



図表 4-4-191 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)

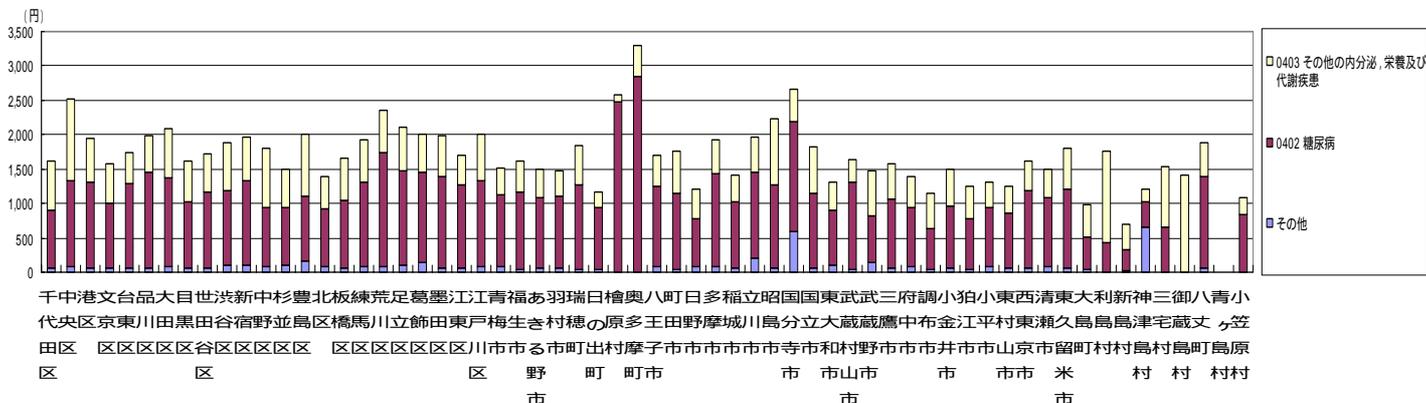


図表 4-4-192 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率  
(60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)

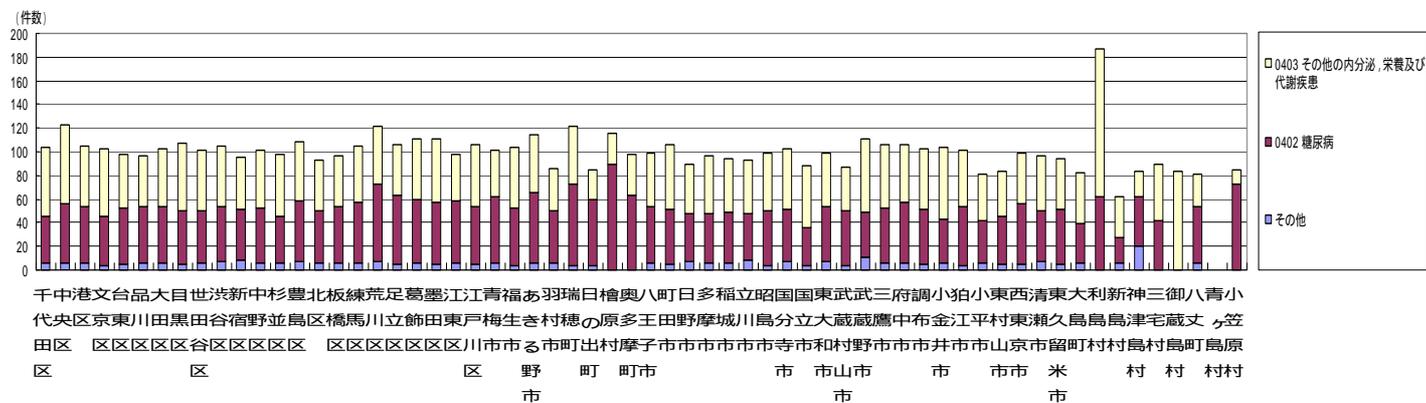


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 793 円、費用額が最も高い区東北部で 1,397 円となっている。「糖尿病」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低と比較的同じ傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、費用額が最も低い西多摩で 403 円、費用額が最も高い区西部で 656 円となっている。

図表 4-4-193 区市町村別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
 (60歳～64歳)(平成18年11月診療分 医科計)

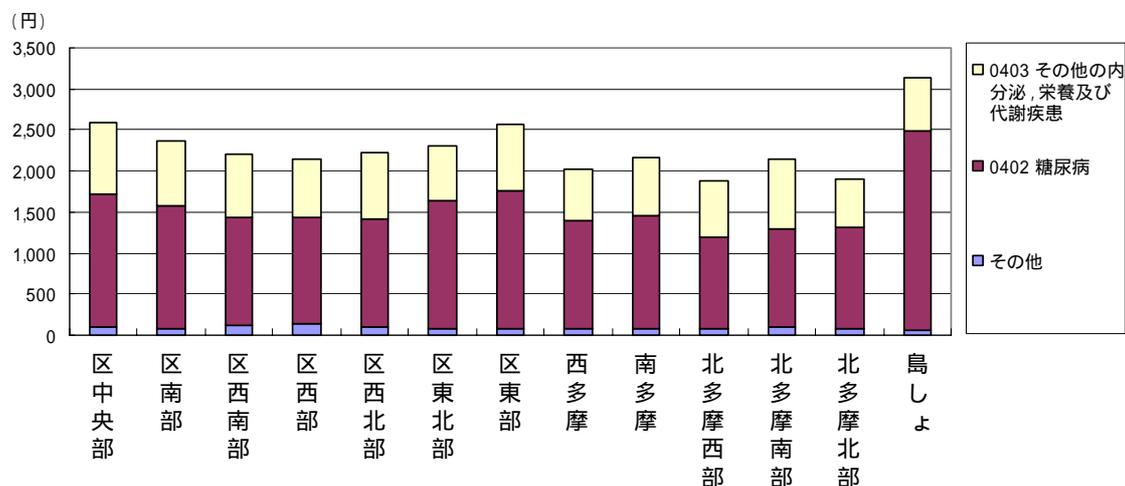


図表 4-4-194 区市町村別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率 (60歳～64歳)  
 (平成18年11月診療分 医科計)

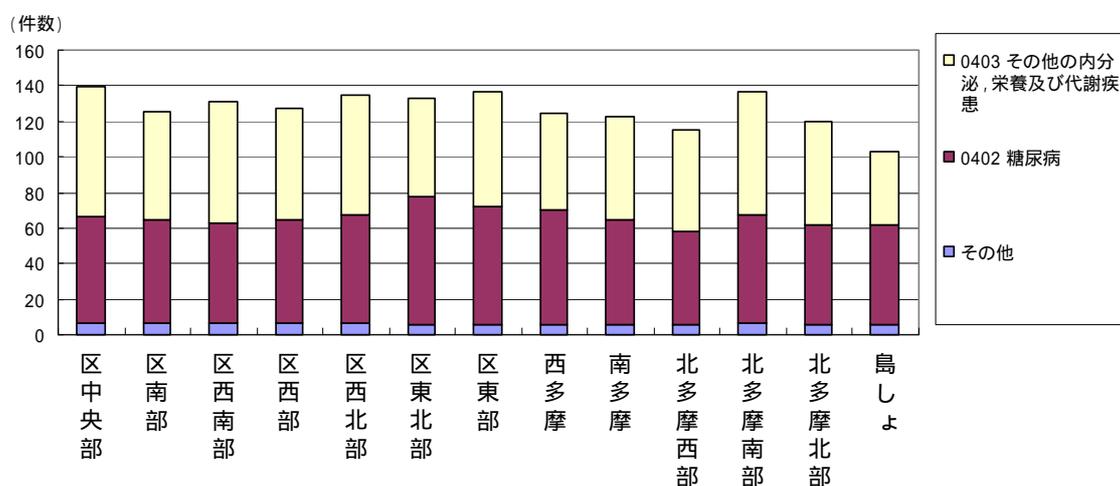


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの区市町村においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い調布市で 585 円、費用額が最も高い奥多摩町で 2,837 円となっている。「糖尿病」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低と比較的同じ傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、島しょを除くと、費用額が最も低い檜原村で 108 円、費用額が最も高い中央区で 1,202 円となっている。

図表 4-4-195 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)



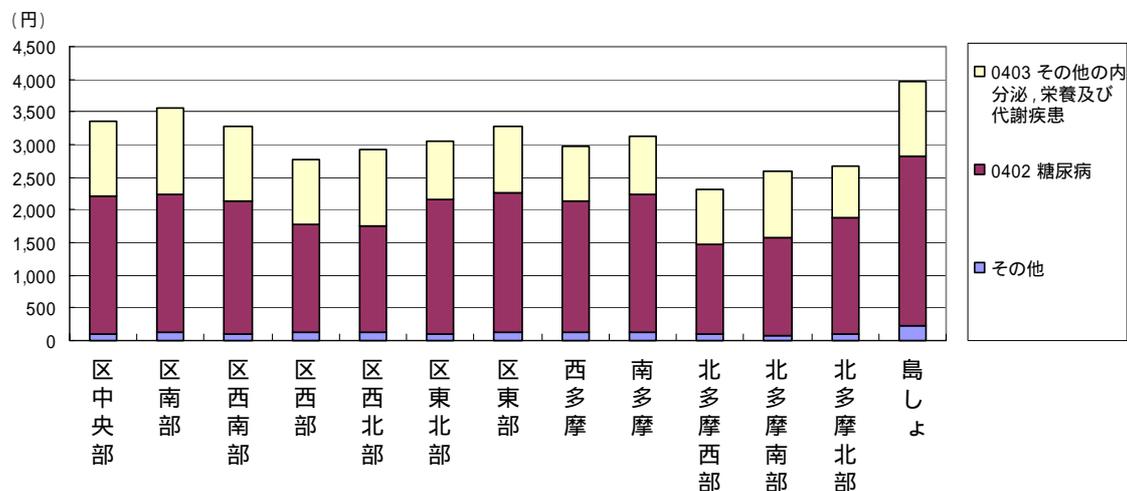
図表 4-4-196 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率  
(65歳～69歳)(平成18年11月診療分 医科計)



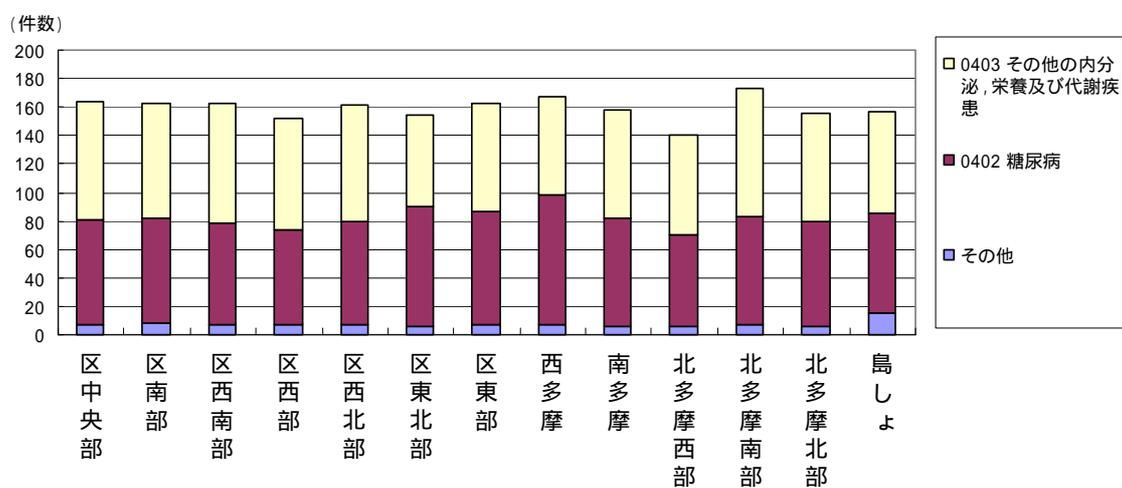
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で 1,113 円、費用額が最も高い区東部で 1,691 円となっている。「糖尿病」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低と比較的同じ傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、費用額が最も低い北多摩北部で 585 円、費用額が最も高い区中央部で 865 円となっている。



図表 4-4-199 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(70歳～74歳)(平成18年11月診療分 医科計)



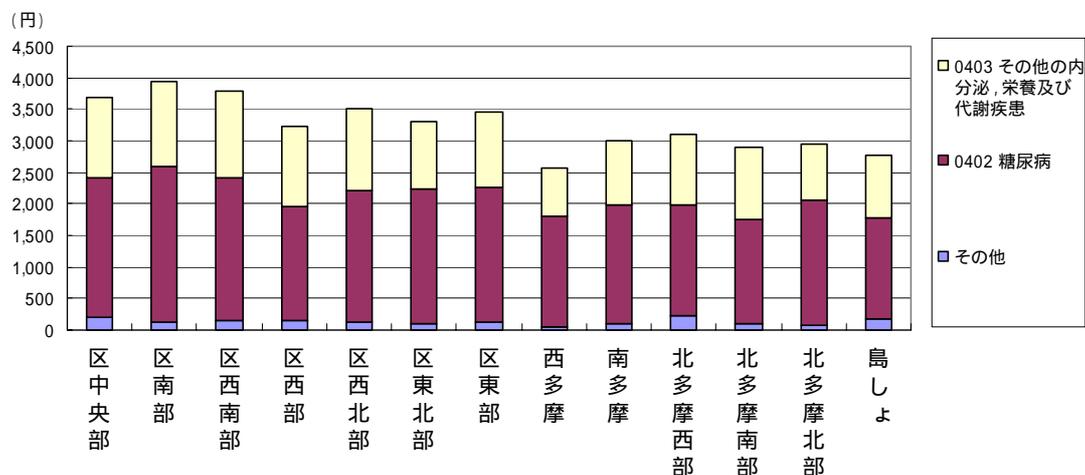
図表 4-4-200 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率  
(70歳～74歳)(平成18年11月診療分 医科計)



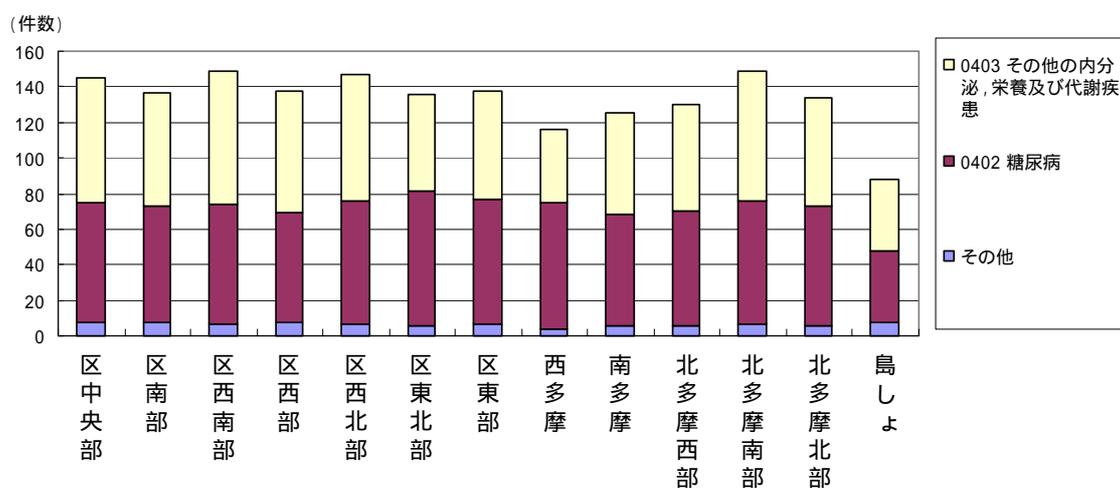
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で 1,390 円、費用額が最も高い区東部で 2,148 円となっている。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、費用額が最も低い北多摩北部で 805 円、費用額が最も高い区南部で 1,322 円となっている。



図表 4-4-203 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別一人当たり医療費  
(75歳以上)(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-204 二次保健医療圏別 内分泌、栄養及び代謝疾患 中分類別受診率 (75歳以上)  
(平成18年11月診療分 医科計)

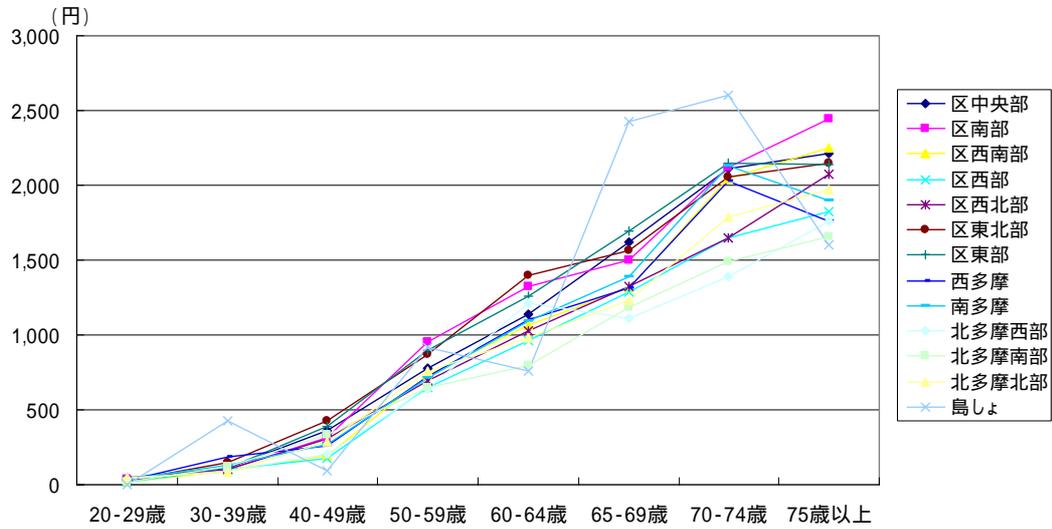


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「糖尿病」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 1,655 円、費用額が最も高い区南部で 2,448 円となっている。
- 「糖尿病」の受診率について、二次保健医療圏における差は、加齢に伴って小さくなっていく傾向にある。
- 「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は、費用額が最も低い西多摩で 747 円、費用額が最も高い区西南部で 1,389 円となっている。

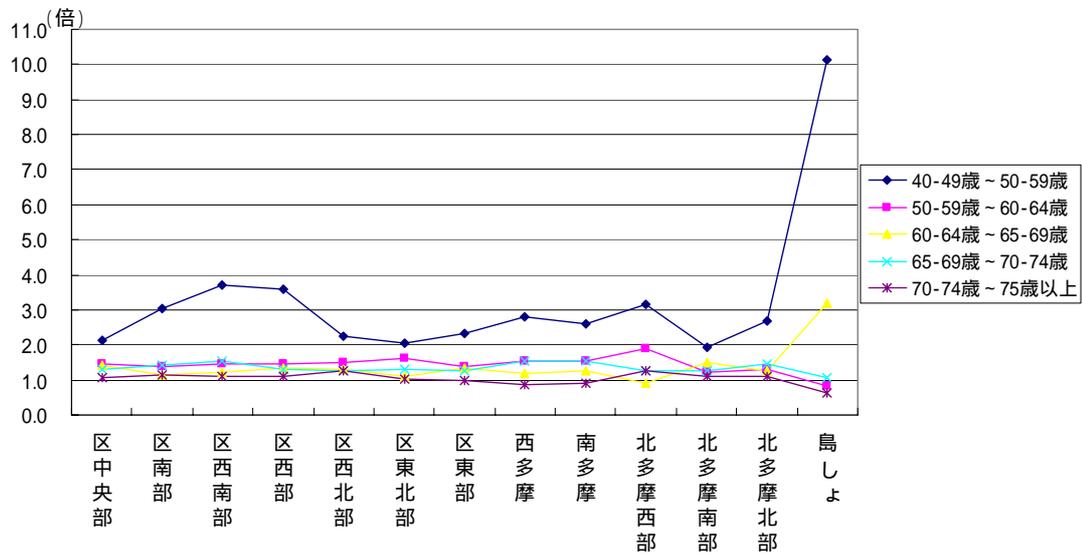


(参考)

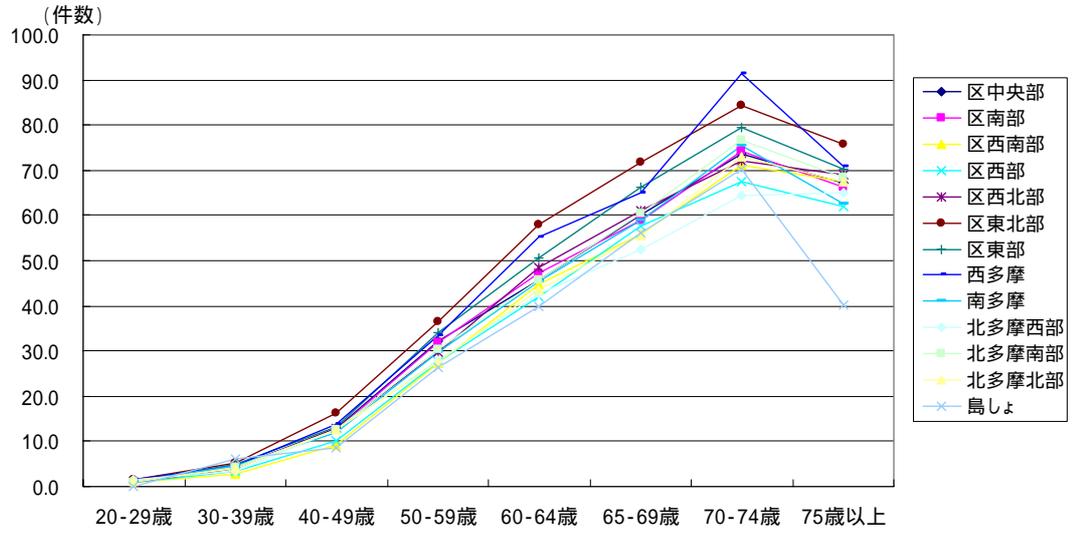
図表 4-4-207 糖尿病 年齢階級別 一人当たり医療費 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



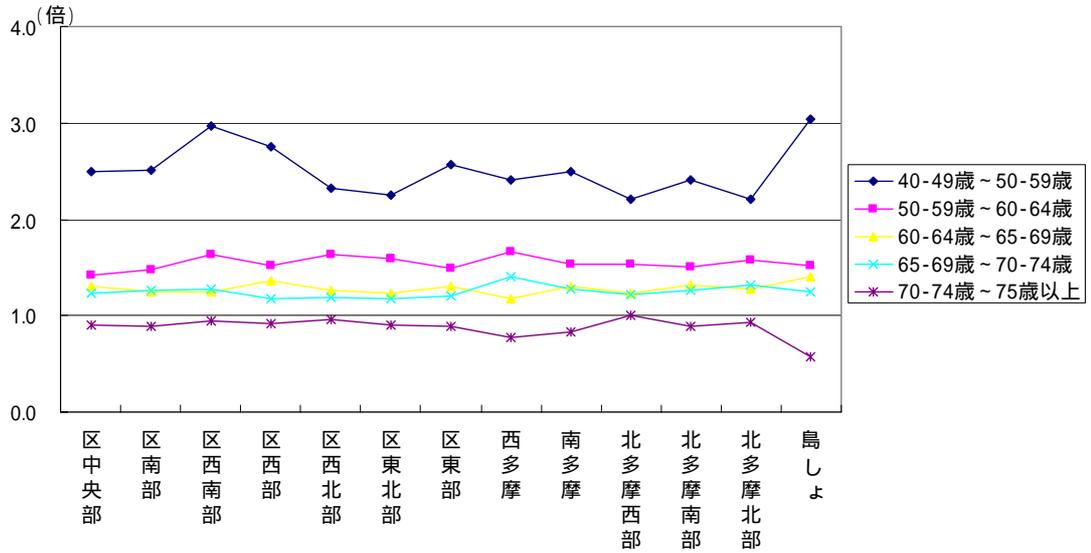
図表 4-4-208 糖尿病 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



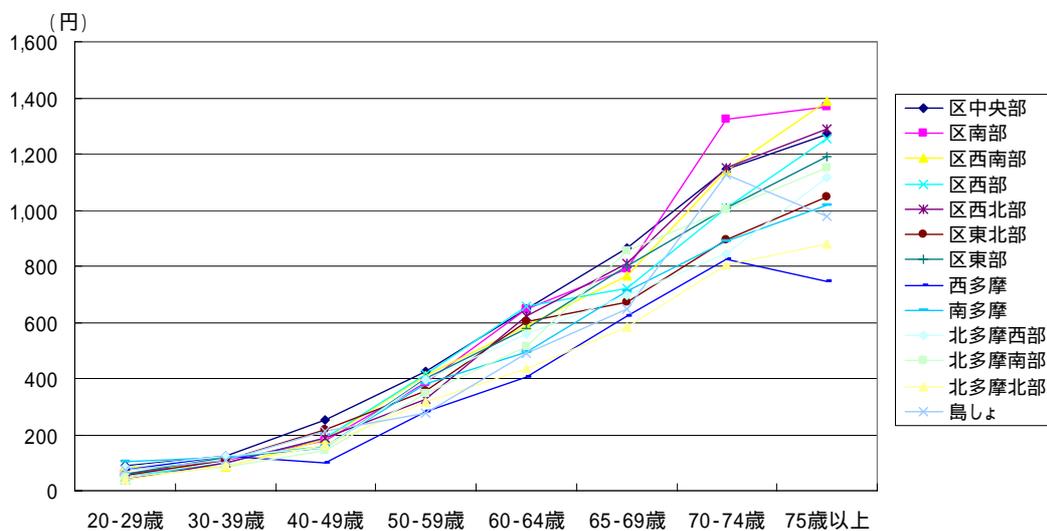
図表 4-4-209 糖尿病 年齢階級別 受診率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



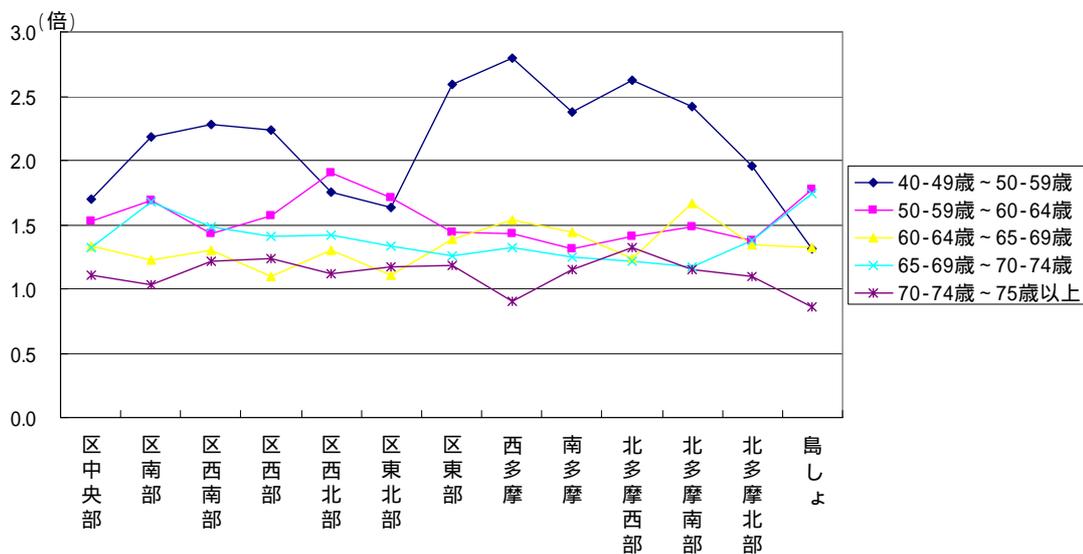
図表 4-4-210 糖尿病 受診率の年齢階級別の伸び（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



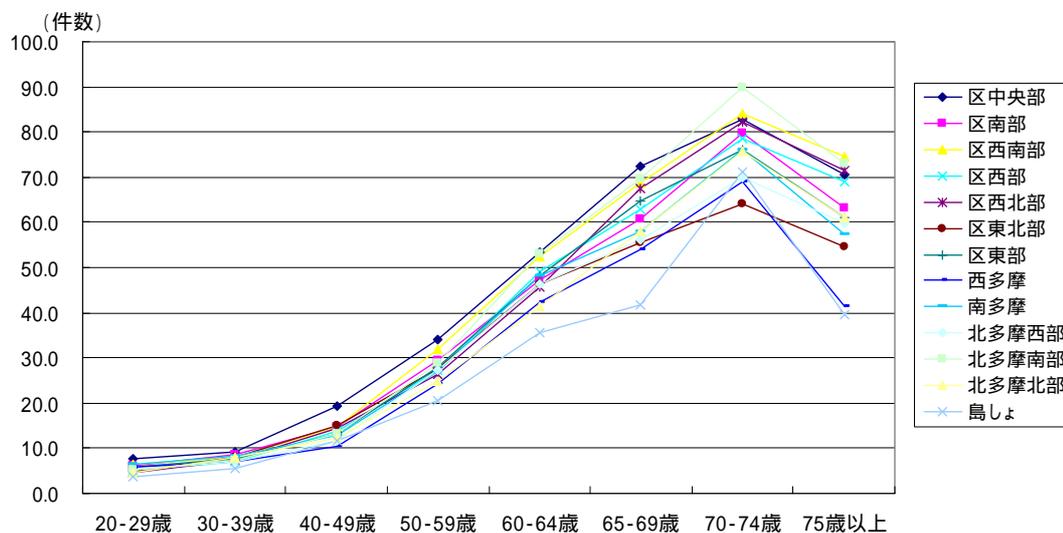
図表 4-4-211 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 年齢階級別 一人当たり医療費  
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



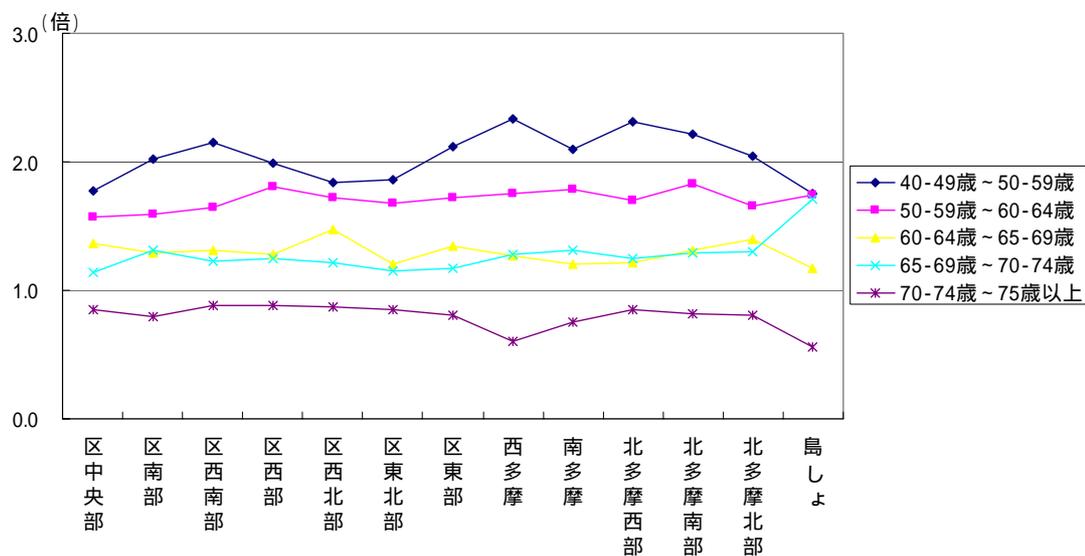
図表 4-4-212 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び  
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



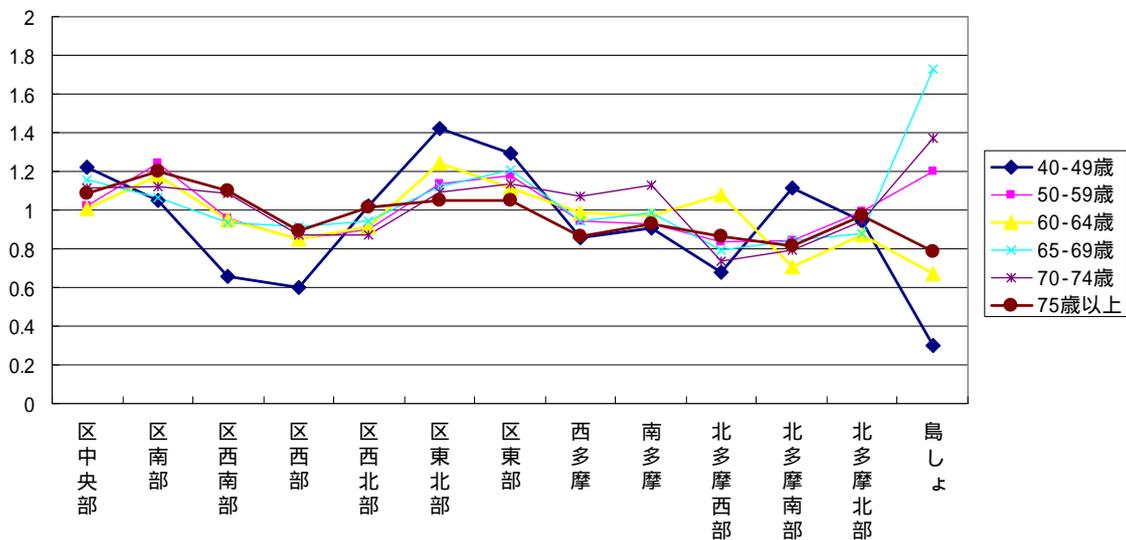
図表 4-4-213 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 年齢階級別 受診率  
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



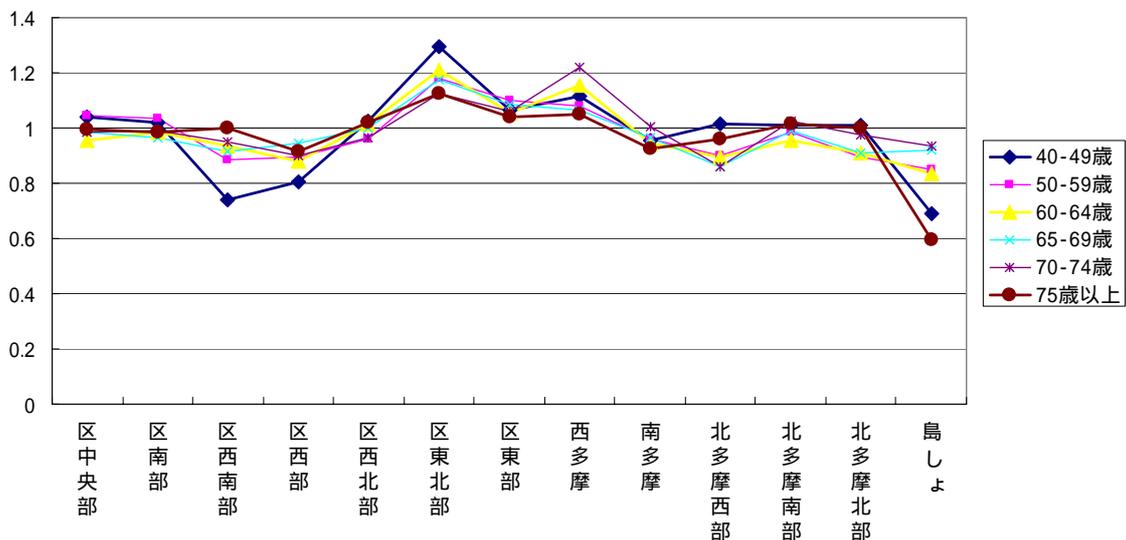
図表 4-4-214 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 受診率の年齢階級別の伸び  
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-215 二次保健医療圏別 糖尿病 一人当たり医療費の年齢階級別の比較  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-216 二次保健医療圏別 糖尿病 受診率の年齢階級別の比較  
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



各年齢階級の一人当たり医療費、及び受診率を比較するため、各地域の一人当たり医療費、受診率について、東京都の一人当たり医療費、受診率を1とした場合の指数をそれぞれ算出し、比較した。

以上のように、内分泌、栄養及び代謝疾患の疾病構造を年齢階層別、及び二次保健医療圏・区市町村別に比較したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「内分泌、栄養及び代謝疾患の疾病構造の年齢階層別及び二次保健医療圏・区市町村別の比較」

【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 内分泌、栄養及び代謝疾患を疾病中分類で見ると、特に「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費占有率が高く、これらの疾病における医療費の推移が東京都の医療費に大きな影響を与えたと考えられる。
- ・ 内分泌、栄養及び代謝疾患の医療費について、療養区分別の割合をみると、入院外医療費の占める割合が大きい。
- ・ 年齢階層別に見ると、「糖尿病」の一人当たり医療費の伸びは、40歳代から50歳代にかけての伸びが他の年齢階層と比較して大きく、受診率についても同様の傾向が見られる。
- ・ さらに、年齢階層別に見て、「糖尿病」の受診率は75歳以上になると減少する傾向がみられる。「糖尿病」の重症化に伴う合併症の発症により、主傷病名が他の疾病に切り替わる等の影響があると推測される。
- ・ 二次保健医療圏、区市町村別にみると、「糖尿病」の一人当たり医療費の地域間の差は、受診率の影響を大きく受けていると考えられる。また、「糖尿病」の受診率の差は、加齢と共に小さくなっていく傾向にある。
- ・ 年齢階層別に見ると、「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の一人当たり医療費及び受診率の伸びに大きな差は見られなかった。

(参考) 生活習慣病の二次保健医療圏及び区市町村の比較

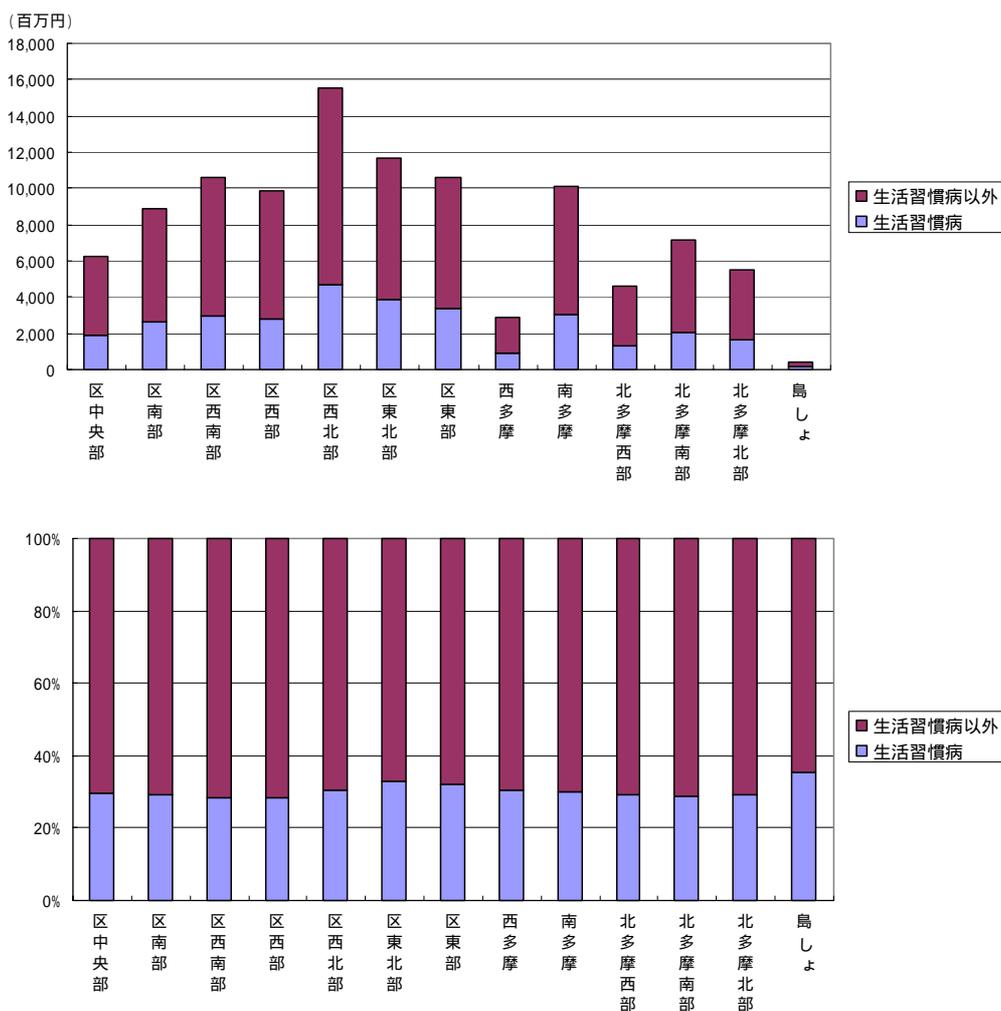
東京都における二次保健医療圏及び区市町村の生活習慣病の医療費諸率（国保被保険者分）の違いについて、2006年11月医科診療分のデータから状況を把握する。

<生活習慣病（10疾病）の医療費に占める割合>

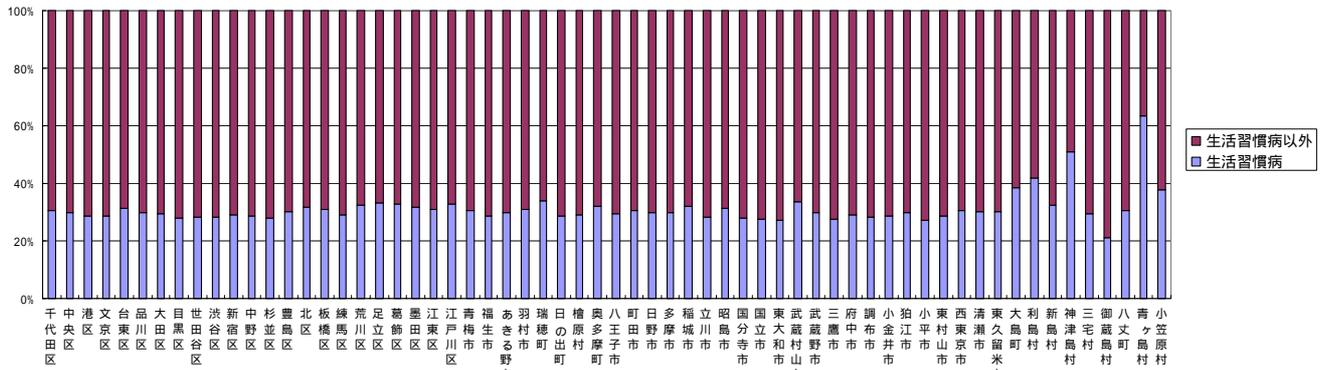
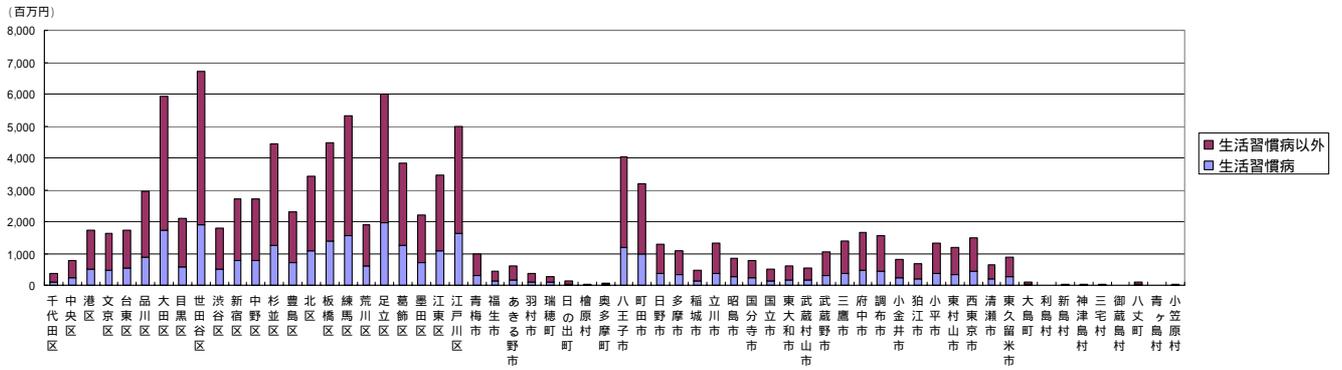
東京都の（国保被保険者分）における、2006年11月医科診療分の生活習慣病（10疾病）の医療費総額に占める割合の状況を把握する。

- 生活習慣病が医療費に占める割合は、島しょの35%を除くと、区西南部の28%から区東北部の33%の範囲となっている。

図表 4-4-217 二次保健医療圏別 医療費に占める生活習慣病の割合  
(平成18年11月診療分 医科計)



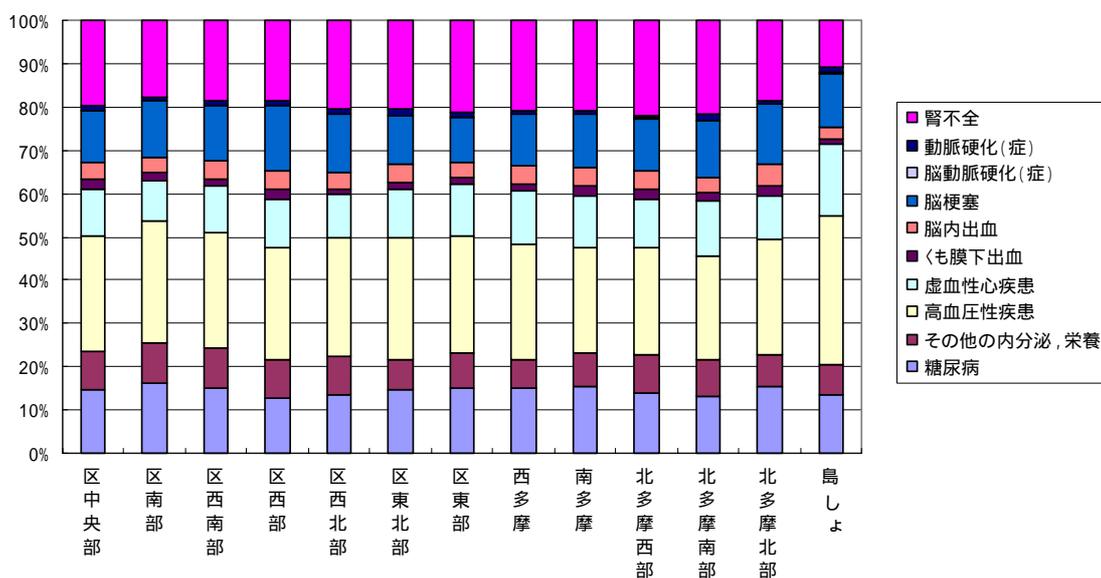
図表 4-4-218 区市町村別 医療費に占める生活習慣病の割合  
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



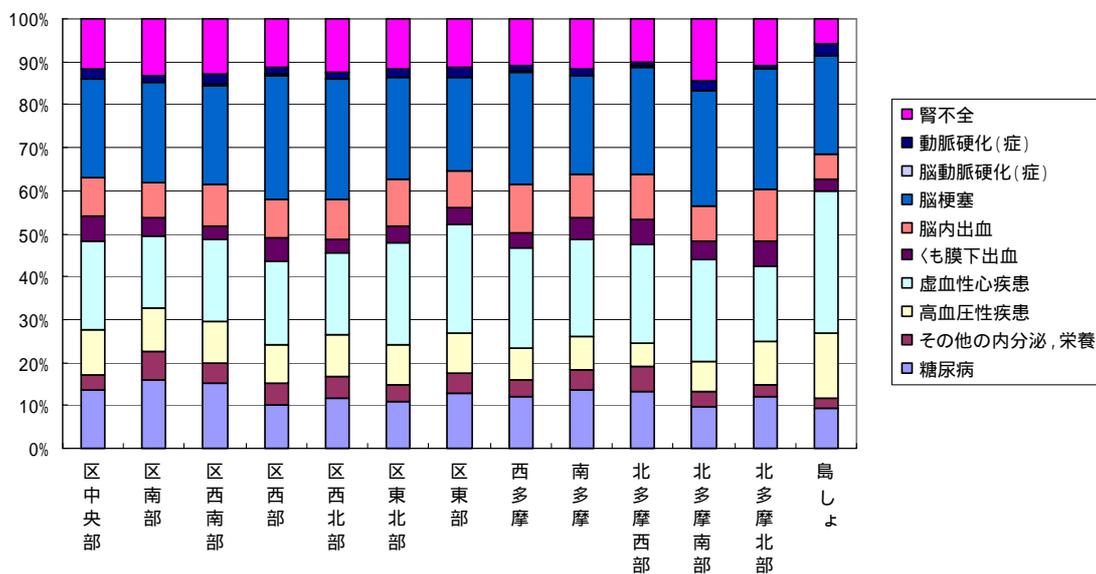
<生活習慣病（10 疾病）の医療費の状況>

- 「高血圧性疾患」は島しょの 34%を除くと、南多摩・北多摩南部の 24%から区南部・区東北部の 28%までとなっている。
- 「腎不全」は島しょの 11%を除くと、区南部・区西南部の 18%から北多摩西部・北多摩南部の 22%までとなっている。
- 「糖尿病」は区西部・北多摩南部の 13%から区南部の 16%までとなっている。
- 入院における疾病構造としては、「脳梗塞」が区東部の 22%から区西部の 29%、「虚血性心疾患」が島しょの 33%を除くと、区南部・北多摩北部の 17%から区東部の 25%と高くなっている。
- 入院における疾病構造としては、「高血圧性疾患」が島しょの 48%を除くと、南多摩・北多摩南部の 35%から区南部の 39%、「腎不全」が島しょの 14%を除くと、区南部の 20%から北多摩西部の 29%と高くなっている。「糖尿病」も島しょの 17%を除くと、北多摩西部の 14%から区南部・区東北部・北多摩北部の 17%と比較的高くなっている。

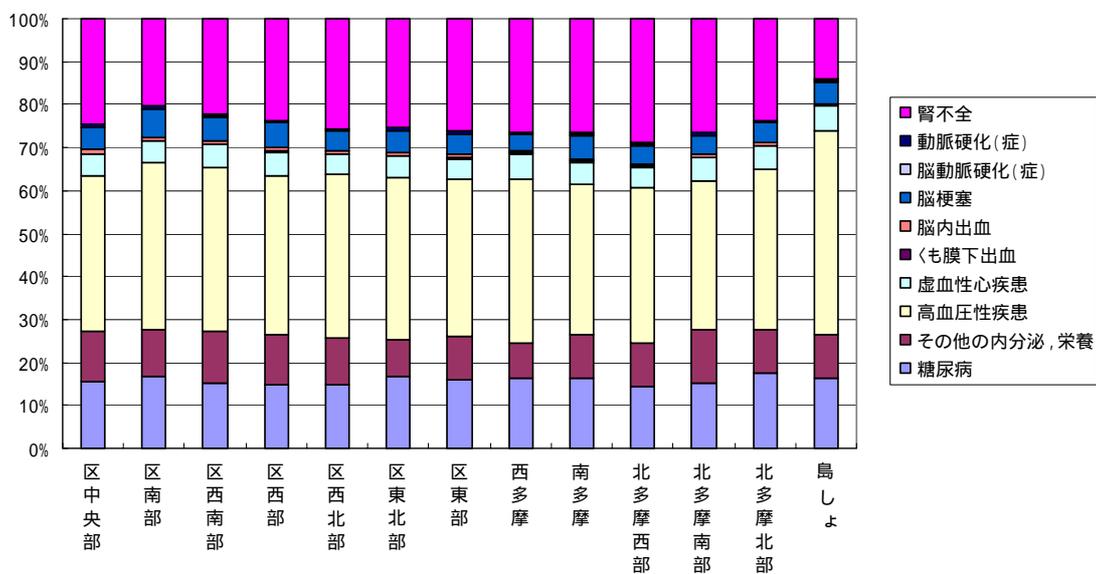
図表 4-4-219 二次保健医療圏別 生活習慣病（10 疾病）の疾病構造  
（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



図表 4-4-220 二次保健医療圏別 生活習慣病（10 疾病）の疾病構造  
 （平成 18 年 11 月診療分 医科入院）



図表 4-4-221 二次保健医療圏別 生活習慣病（10 疾病）の疾病構造  
 （平成 18 年 11 月診療分 医科入院外）



以上のように、東京都の国民健康保険医療費について、医療費総額、被保険者の年齢構造、医療費諸率、疾病構造の側面から二次保健医療圏・区市町村の比較を行い、東京都の医療費の状況を概観したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

#### 「国民健康保険医療費の状況より見た東京都の特徴」

##### 【被保険者及び医療費諸率に見る二次保健医療圏・区市町村比較】

- ・ 東京都における各地域の被保険者の年齢構造について、二次保健医療圏における差は小さかったものの、区市町村単位では大きな差が発生している場合も見られた。
- ・ 各地域の医療費諸率について、二次保健医療圏における差は小さかったものの、区市町村単位では大きな差が発生している場合も見られた。
- ・ 40歳以上の年齢層で、医療費の上位5大疾病を対象にして地域による違いをみると、一人当たり医療費や受診率に若干の差が見られた。ただし、両者とも地域特性と言い切れるほど顕著ではなかった。

##### 【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 医療費の上位5大疾病について年齢階層別に見ると、「高血圧性疾患」「脳梗塞」、あるいは「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「結腸の悪性新生物」「関節症」「糖尿病」の一人当たり医療費は、40歳代から50歳代にかけての伸びが他の年齢階層と比較して大きく、受診率についても同様の傾向が見られる。
- ・ さらに、「高血圧性疾患」や「糖尿病」といった入院外診療が中心となる疾病の一人当たり医療費について、二次保健医療圏、区市町村における差は受診率の影響を大きく受けているものと考えられる。なお、年齢階層別に見ると、「高血圧性疾患」や「糖尿病」の地域間の受診率の差は、加齢と共に小さくなっていく傾向にある。
- ・ 医療費の上位5大疾病を詳細に分析した所、中でも生活習慣病（ ）や新生物が医療費に対して大きな割合を占めていた。生活習慣病や新生物が東京都の医療費に与える影響は大きく、東京都民の地域における健康課題の抽出や医療費の適正化を推進していく上では、生活習慣病や新生物に対する取り組みが不可欠である。特に、40歳代から50歳代にかけての一次予防、二次予防的な取り組みが重要になるものと考えられる。  
生活習慣病とは、「糖尿病」「その他の内分泌、栄養の疾患」「高血圧性疾患」「虚血性心疾患」「くも膜下出血」「脳内出血」「脳梗塞」「脳動脈硬化（症）」「動脈硬化（症）」「腎不全」の10疾病である。